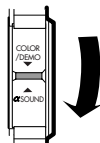
マイクロコンポーネントMDシステム

型名　UX-W5-S/-W/-B　UX-WA6-M

• イラストはUX-W5-Sのとき

デモ表示について

本機にはデモ表示機能が用意されています。
電源プラグをコンセントに差し込むと自動的に働きます。
解除するときは、COLOR/DEMOレバーを下側に押します。
詳しくは、「デモ表示機能について」(➡**11**ページ)をご覧ください。

お買いあげいただき、ありがとうございます。

⚠ご使用の前に

この**「取扱説明書」**をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に4〜7ページの「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、安全にお使いください。
お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

省エネ設計

省エネ回路により本体部は、
電源待機時　消費電力 0.9 W

LVT1168-001A

目　次

はじめに　ページ

準備　ページ

基本操作　ページ

ラジオを聞く　ページ

CD/MDを聞く　ページ

テープを聞く　ページ

他の機器の音声を聞く　ページ

録音する　ページ

MDを編集する　ページ

タイマーを使う　ページ

知っておいてほしいこと　ページ

はじめに

安全上のご注意 —はじめにお読みください—

絵表示について

この取扱説明書と製品には、いろいろな絵表示が記載されています。
これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。
絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。

⚠ 警告

この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容を示しています。

⚠ 注意

この表示の注意文を無視して、誤った取扱いをすると、「傷害を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。

- **絵表示の説明**

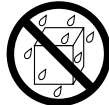
注意をうながす記号

一般的注意

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

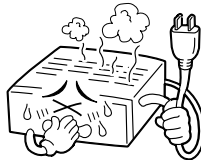
行為を指示する記号

一般的指示

電源プラグを抜く

⚠ 警告

万一、次のような異常が発生したときはすぐ使用をやめる。

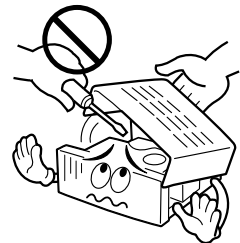
- 煙が出ていたり、へんなにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ってしまったとき
- 落としたり、破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（芯線の露出や断線など）

電源プラグを抜く

すぐに電源を「切」にし、電源プラグをコンセントから抜く。

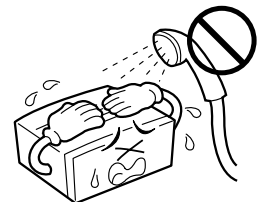
異常が発生したまま使用していると、火災や感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認してから販売店に修理を依頼してください。お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

分解や改造をしない。カバーを外さない。

火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。

分解禁止

風呂場やシャワー室では使用しない。

本機の中に水が入ると、火災や感電の原因となります。

水場での使用禁止

⚠ 警告

本機の中に物を入れない。

通風孔やディスク挿入口などから、金属物や燃えやすいものが入ると、火災や感電の原因となります。

特に小さいお子様のいるご家庭では注意してください。

電源コードを傷つけない。

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。特に、次のことに注意してください。

- 電源コードを加工しない
- 電源コードを無理に曲げない
- 電源コードをねじらない
- 電源コードを引っ張らない
- 電源コードを熱器具に近づけない
- 電源コードの上に家具などの重い物をのせない

電源プラグは、根元まで確実に差し込む。

差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災や感電の原因となります。

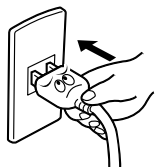
また、たこ足配線も、コードが熱を持ち危険ですのでしないでください。

電源プラグは定期的に清掃する。

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを乾いた布で取ってください。

本機の上に水の入った容器を置かない。

花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品など水の入った容器を置かないでください。こぼれたり、中に水が入った場合は、火災や感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アンテナ線や電源プラグに触れない。

感電の原因となります。

表示された電源電圧（交流 100 ボルト）で使用する。

火災の原因となります。本機を使用できるのは日本国内のみです。

This set is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

本機の包装に使用しているポリ袋は、小さなお子様の手の届くところに置かない。

頭からかぶると窒息の原因となります。

⚠ 注意

電源プラグは、コードの部分を持って抜かない。

電源コードを引っ張ると、コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。電源プラグを持って抜いてください。

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない。

感電の原因となることがあります。

通風孔をふさいだり、風通しの悪い場所で使用しない。

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

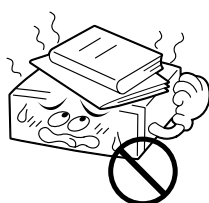
- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押し入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロスを掛けない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない
- 設置するときは、壁などから10 cm以上離す

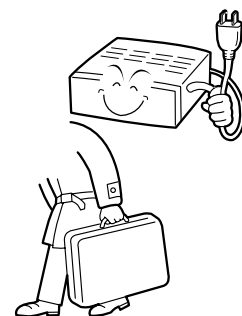
置き場所に注意する。

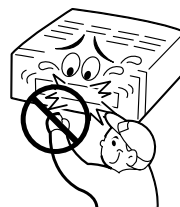
次のような所に置くと、火災や感電の原因となることがあります。

- 調理台や加湿器のそばなど、油煙や湯気が当たる所
- 湿気やほこりの多い所
- 熱器具の近くなど高温になる所
- 窓ぎわなど水滴の発生しやすい所

本機の上に重い物を置かない。

テレビなどの重い物や本機からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりして、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。安全および節電のため、電源プラグを抜いてください。

可動部の作動中には無理な操作を加えない。

一つの動作が終了してから、次の操作に移ってください。誤動作や故障の原因となることがあります。

⚠ 注意

お手入れをするときは、電源プラグを抜く。

電源が「切」でも本機には、わずかな電流が流れています。電源プラグがコンセントに接続されていると、感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

移動するときは、接続コード類や電源プラグを抜く。

接続したまま移動すると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜く

はじめから音量を上げすぎない。

突然大きな音が出て、スピーカーを破損したり、聴力障害の原因となることがあります。

電源を切る前に音量（ボリューム）を下げておき、電源が入ってから徐々に上げてください。

ヘッドホンを使用するときは、音量を上げすぎないようにする。

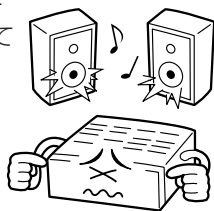
耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響をおよぼすことがあります。

ディスク挿入口に、手を入れない。

けがの原因になることがあります。特に小さなお子様のいるご家庭では注意してください。

手を挟まれないよう注意

3年に一度は内部の清掃を販売店に依頼する。

内部にほこりがたまったまま使用すると、火災の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。

電池の取り扱いに注意する。

電池の取り扱いを誤ると、電池が破裂したり、液もれして、火災・けがや周囲を汚す原因となることがあります。次のことに注意してください。

- 指定以外の電池を使用しない
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖を間違えない
- 電池のプラス⊕とマイナス⊖をショートさせない
- 電池を加熱しない
- 分解しない
- 火や水の中に入れない
- 新しい電池と一度使用した電池を混ぜて使用しない
- 種類の違う電池と混ぜて使用しない
- 乾電池は充電しない
- 長期間使わないときは、電池を取り出しておく

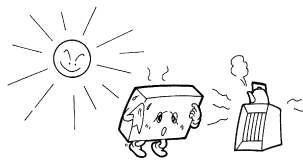
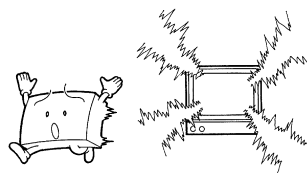
もし、電池が液もれをしてしまったときは、電池ケースについた液をよく拭きとってください。万一、もれた液体が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

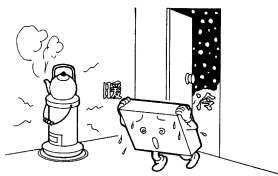
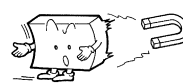
使用上のご注意　ーはじめにお読みくださいー

本機やCD、MD、テープの置き場所について

故障などを防止するために、次のような場所には置かないでください。

本機の使用環境温度は、3℃～ 35℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

- 湿気やほこりの多い所
- 風通しの悪い狭い場所

- 直射日光の当たる所
- 熱器具の近く

- テレビや他のアンプ、チューナーなどのすぐそば
- バランスの悪い不安定な所

- 極端に寒い所

- 寒い所から急に暖かい部屋へ移動した後しばらくの間

- 磁気を発生する所
- OA機器やけい光灯のすぐそば
- 振動の激しい所

ステレオを聞くときのエチケット

ヘッドホンをご使用になるときには、耳を刺激しないよう適度な音量でお楽しみください。

■ ステレオで音楽をお楽しみになるときは、隣近所に迷惑がかからないような音量でお聞きください。
特に、夜は小さな音でも周囲によく通るものです。窓を閉めたりヘッドホンをご使用になるなどお互いに気を配り、快い生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

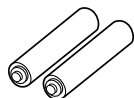
露がついたら

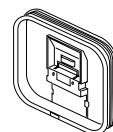
次のようなとき、本機のレンズに露（水滴）が付いて正しく演奏できない場合があります。

- 暖房を始めた直後
- 湯気や湿気の多いところに置いてあるとき
- 冷えた所から急に暖かい部屋に移動したとき
  このようなときは、電源を「入」にしたまま約1～2時間待ってから、ご使用ください。

付属品の確認

お使いになる前に、付属品をお確かめください。
不足しているものがありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

リモコン
RM-SUXW5-S
（1個）

リモコン用
単3形乾電池
（動作確認用、2本）

FM簡易型アンテナ
（1本）

AMループアンテナ
（1個）

- この製品には付属品の他に、取扱説明書(本書)や保証書が添付されています。

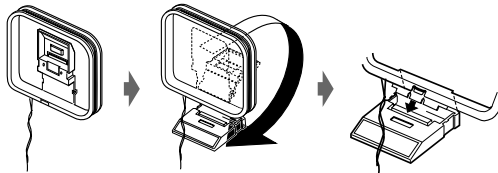
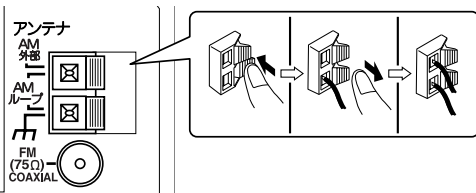
接　続　— 接続が終わるまで電源は入れないでください。—

アンテナの接続

FM/AM放送を聞くために、アンテナを接続します。アンテナを接続しないと、ラジオ放送を聞くことができません。アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行ってください。

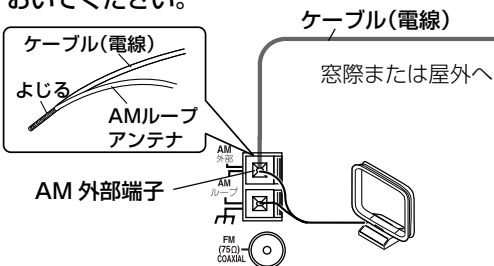
AMアンテナを接続する

AMループアンテナ(付属品)を接続する

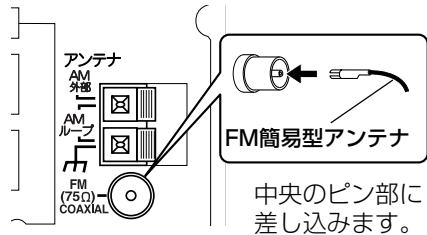
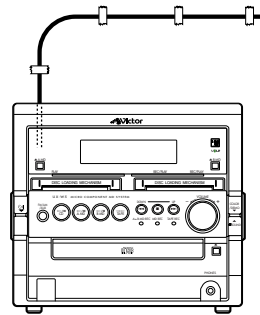
- まずAMループアンテナを組み立てます。
  台になる部分を回転させて差し込みます。

- 次に、組み立てたAMループアンテナを本体のAMループ端子に接続します。

アンテナ線の先端にビニールがついているときは、**ねじりながら抜き取ります。**

- 接続したAMループアンテナを左右に回して最も受信状態の良い方向に向けて置きます。
  本体からできるだけ離して置いてください。
  - AMループアンテナは、金属製の机の上やテレビ、パソコンなどの近くに置かないでください。受信感度が悪くなります。束ねてある線は、よく伸ばして使ってください。

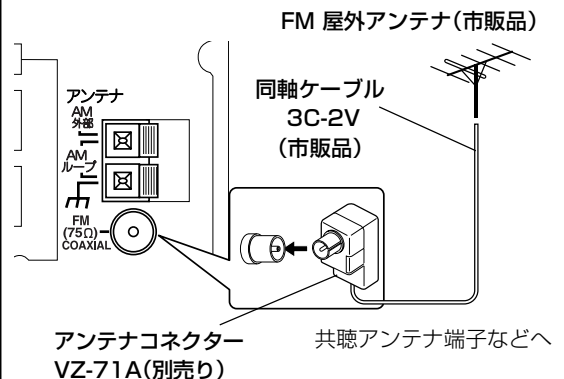
AMループアンテナではうまく受信できないとき

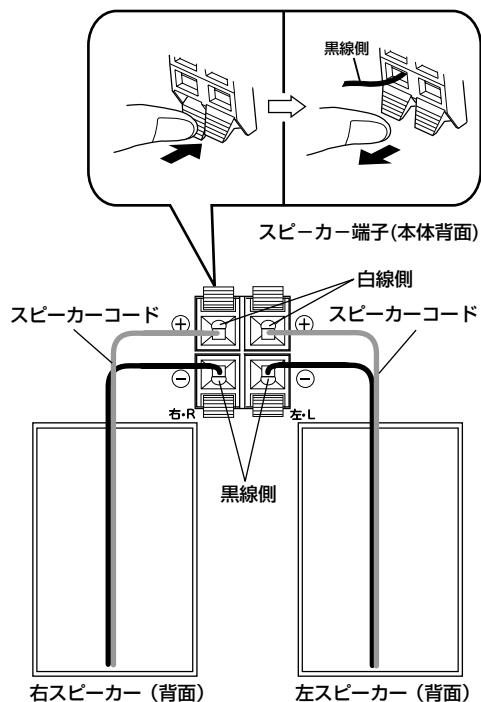
AM 外部端子に3m〜5mのケーブル(電線：市販品)を接続し、窓際や屋外になるべく高く水平に張ります。
このとき、AMループアンテナも一緒に接続しておいてください。

FMアンテナを接続する

FM簡易型アンテナ(付属品)を接続する

- FM簡易型アンテナを本体のFM(75Ω) COAXIAL端子に接続します。

中央のピン部に差し込みます。

- 接続したFM簡易型アンテナは、最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてセロハンテープなどで固定します。

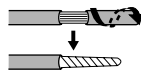
付属のアンテナではうまく受信できないときや、マンションなどの壁の共聴アンテナ端子を使うとき

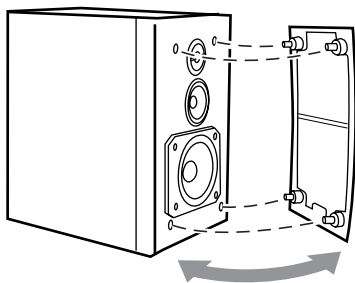
市販の同軸ケーブルとアンテナコネクター(別売り)を用意してください。

電波状態によっては、FMフィーダーアンテナ：CN-511A(別売り)がアンテナコネクターと一緒にご利用になれます。

準備

スピーカーの接続

各スピーカー背面からのコードを、本体のスピーカー端子に接続します。

- 正面向かって右スピーカーのコードを右･R端子に接続します。
  正面向かって左スピーカーのコードを左･L端子に接続します。
  スピーカーは、左右どちらでもお使いになれます(左右の区別はありません)。
- スピーカーコードの白線側を⊕に、黒線側を⊖に接続します。
- 本機に接続できるスピーカーのインピーダンスは、4Ω ～16Ωです。

スピーカーコード先端に
ビニールがついているときは、
ねじりながら抜き取ります。

スピーカーネットの外しかた

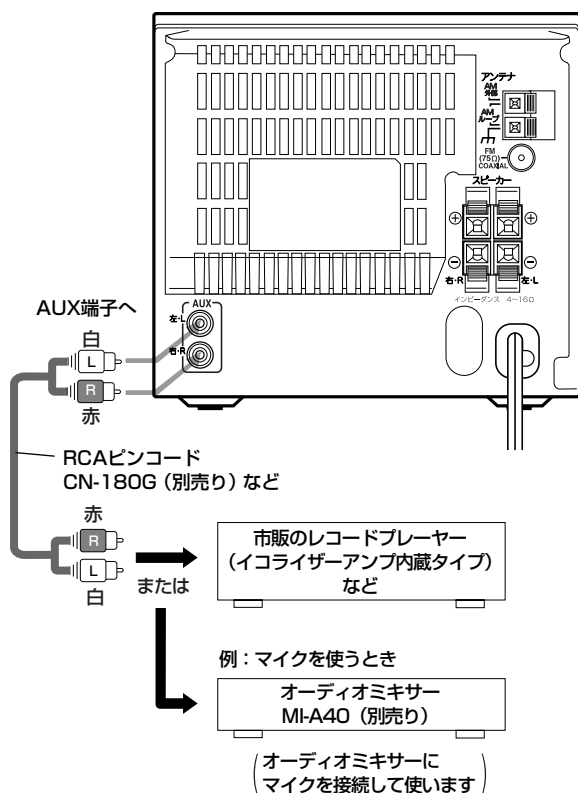
お手入れのときなど、スピーカーネットを取り外すことができます。

- 左右上端を軽く押さえ、手前に引いて外してください。再び取り付けるときは、突起部を合わせて軽く押し込みます。

ご注意

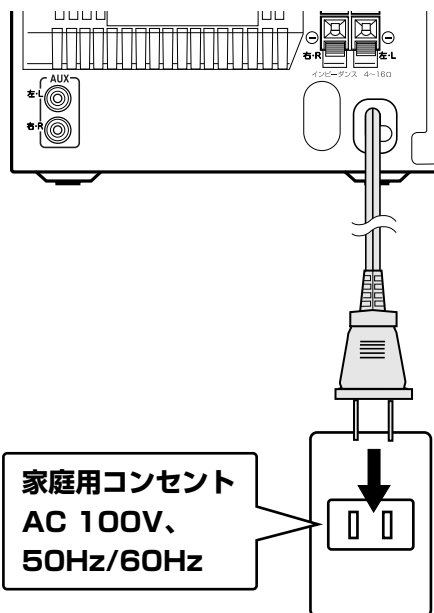
- **スピーカーコードの白線と黒線を逆に接続すると、ステレオ感や音質がそこなわれますのでご注意ください。**
- **スピーカー端子の⊕と⊖をショートさせないでください。故障の原因となります。**
- **本機のスピーカーは、防磁設計(JEITA仕様)になっておりません。テレビの近くに設置するとテレビに色ムラを生ずることがあります。テレビとは10cm以上離して設置してください。**
- **他のスピーカーとは、一緒に接続しないでください。負荷インピーダンスが変わり、故障の原因となります。**

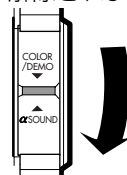
他の機器の接続

外部のオーディオ機器を接続し、それらの演奏を楽しむことができます。

- ご使用になる機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。

電源コードの接続

すべての接続が終わったことを確認してから接続します。

電源プラグを家庭用コンセントへ接続する

デモ表示機能について

電源プラグを家庭用コンセントに接続すると、表示窓に「DEMO START!」と表示され、デモ表示が始まります。
電源を「入」にするとデモ表示は解除されます。
電源「切」のときは、本体のCOLOR/DEMOを下側に押すと「DEMO OFF」と表示され、解除されます。

デモ表示を再開するには…
電源「切」のとき本体のCOLOR/DEMOを下側に押します。

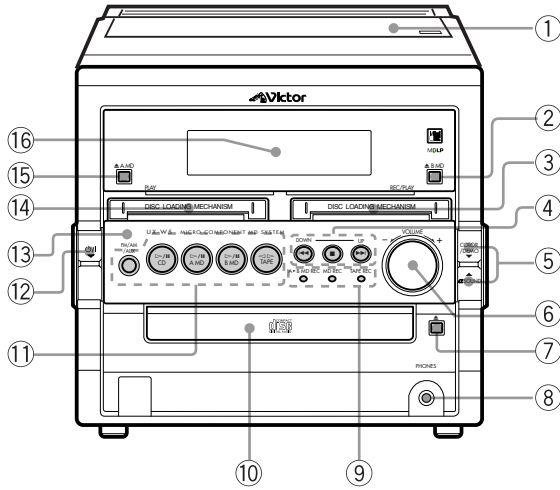
デモ表示を出ないようにするには…
電源「切」のとき、本体のCOLOR/DEMOを「DEMO CLEAR」が表示されるまで下側に押し続けます。
電源コードを抜き差ししてもデモ表示は行われません。
元に戻すときは、COLOR/DEMOを「DEMO START!」が表示されるまで下側に押し続けます。

お知らせ

- 長期間使用しないときは、コンセントから電源コードを抜いておいて安全と節電に心がけてください。

準備

各部の名前 ー(　)内の数字のページに説明がありますー

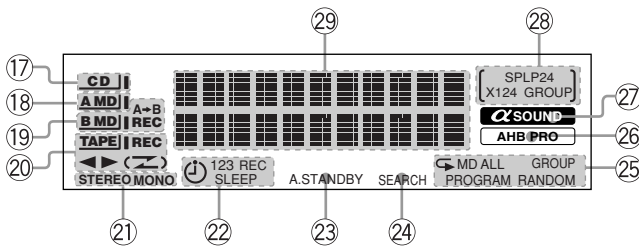
本　体

① カセットホルダーと≜(PUSH OPEN)(31)
② ≜ B MD(取り出し)(24)
③ B MD挿入口 (23)
④ |◀◀ (DOWN)、▶▶| (UP)
- ラジオ (19, 20)
- CD (24)
- A MD/B MD (24)
- テープ (32)

■ (停止)
- CD (24)
- A MD/B MD (24)
- テープ (32)

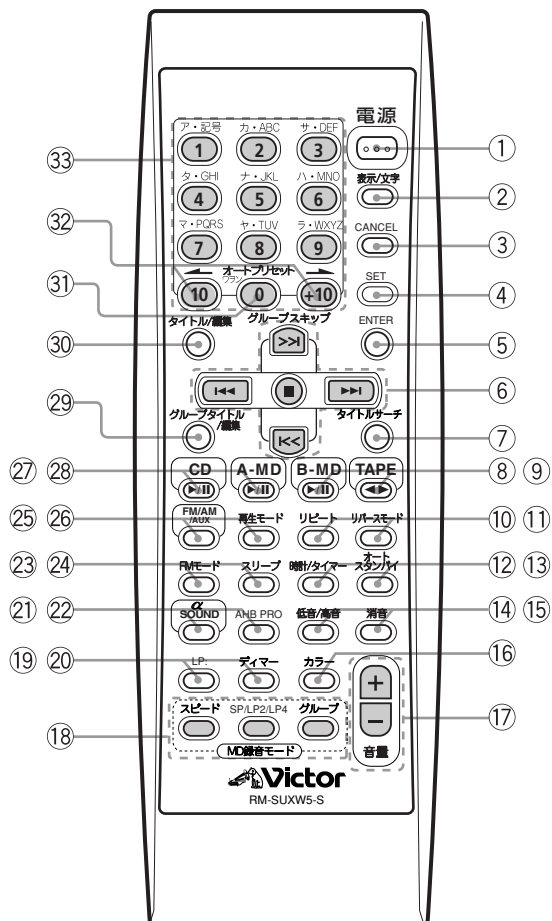
⑤ COLOR/DEMO (11, 18)
　α SOUND (18)
⑥ VOLUMEつまみ (16)
⑦ ≜ (CD取り出し)(22)
⑧ PHONES(ヘッドホン)端子
ミニプラグ付ヘッドホン(別売り)をつなぎます。プラグを接続するとスピーカーから音は出なくなります。
⑨ 録音ボタン
- A ► B MD REC (38)
- MD REC (36, 37, 39, 42)
- TAPE REC (41, 42)

⑩ CDトレイ (22)
⑪ 操作ボタン
- FM/AM/AUX (16, 19, 20, 33)
- CD ▷/II (16, 22)
- A MD ▷/II (16, 23)
- B MD ▷/II (16, 23)
- TAPE ◁ ▷ (16, 31)

⑫ ⏻/| (電源) (16)
⑬ リモコン受光部 (14)
⑭ A MD挿入口 (23)
⑮ ≜ A MD(取り出し)(24)
⑯ 表示窓

表示窓

⑰ CD表示 (22)
⑱ A MD表示 (23)
⑲ B MD表示 (23)
⑳ テープ表示 (31)
- ◀ ▶: テープ走行方向表示
- (⥂): リバースモード表示

㉑ STEREO表示/MONO表示 (21)
㉒ タイマー表示 (55, 58, 59)
㉓ A.STANDBY表示 (60)
㉔ SEARCH表示 (30)
㉕ 演奏モード表示 (26〜30)
㉖ AHB PRO表示 (17)
㉗ α SOUND表示 (18)
㉘ MD録音状態表示 (36)
㉙ 情報表示部

リモコン(RM-SUXW5-S)

① **電源 (16, 58, 59)**
② **表示/文字 (15, 21, 24, 30, 44)**
③ **CANCEL（キャンセル） (15, 27, 30, 45)**
④ **SET（セット） (15, 19, 30, 33, 44, 47〜49, 51〜54, 56〜58)**
⑤ **ENTER（エンター） (21, 30, 47〜49, 51〜54)**
⑥ **I◀◀、▶▶I**
- **ラジオ (19, 20)**
- **CD (24)**
- **A MD/B MD (24)**
- **テープ (32)**

■ (停止)
- **CD (24)**
- **A MD/B MD (24)**
- **テープ (32)**

I<<、>>I (29)

⑦ **タイトルサーチ(30)**
⑧ **B-MD ▶/II (16, 23)**
⑨ **TAPE（テープ） ◀ ▶ (16, 31)**
⑩ **リピート(26)**
⑪ **リバースモード(31)**
⑫ **時計/タイマー(15, 56)**
⑬ **オートスタンバイ(60)**
⑭ **低音/高音(17)**
⑮ **消音(17)**
⑯ **カラー(18)**
⑰ **音量 +、− (16)**
⑱ **MD録音モードボタン**
- **スピード (37, 38)**
- **SP/LP2/LP4 (36)**
- **グループ (36)**

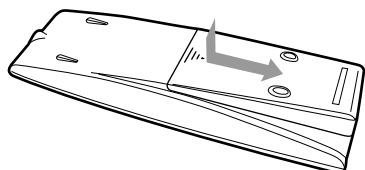
⑲ **LP:(36)**
⑳ **ディマー(15)**
㉑ **αSOUND（アルファサウンド）(18)**
㉒ **AHB PRO（プロ）(17)**
㉓ **FMモード(21)**
㉔ **スリープ(55)**
㉕ **FM/AM/AUX(16, 19, 20, 33)**
㉖ **再生モード(27〜29)**
㉗ **CD ▶/II (16, 22)**
㉘ **A-MD ▶/II (16, 23)**
㉙ **グループタイトル/編集 (43, 51〜54)**
㉚ **タイトル/編集 (21, 43, 47〜49)**
㉛ **オートプリセット (19)**
㉜ **10、+10 (30, 44)**
㉝ **数字ボタン (15, 19, 21, 25)**
- **1〜10、0、+10**

準備

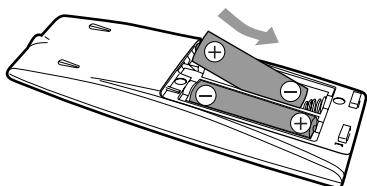
リモコンの準備

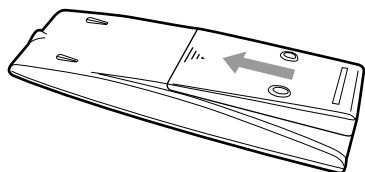
リモコンに乾電池を入れる

単３形の乾電池２本をリモコンに入れます。

1 裏ぶたを開ける

2 乾電池を入れる

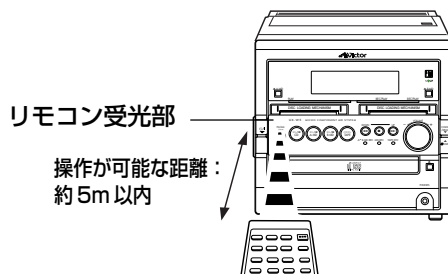
単3形乾電池を2本入れます。

リモコン内部の表示に極性(⊕/⊖)を合わせ、正しく入れてください。

3 裏ぶたを閉める

「カチッ」と音がしてしまります。

ご注意

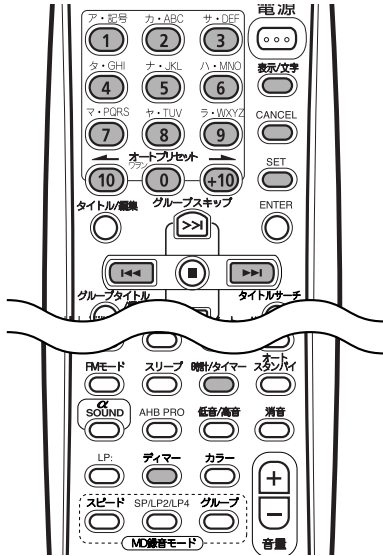
- 付属の電池は動作確認用です。早めに新しい電池と交換してください。
- 一度使用した電池と新しい電池を混ぜて使用しないでください。
- 種類の違う電池(アルカリとマンガン)と混ぜて使用しないでください。
- 長期間使用しないときは、電池を取り出しておいてください。液漏れなどの原因となります。

リモコンの操作

リモコンを使うときは、本体正面に向けて正しく操作してください。極端に斜めの方向から操作したり手前に障害物があると、信号が届かなくなります。

- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。
  交換するときは、2本とも同じ種類の新しい単3形乾電池と交換してください。
- リモコンを落としたり、強い衝撃をあたえないでください。

時計を合わせる

時計を現在時刻に合わせておきます(24時間表示方式)。正しく設定しないとタイマー機能を使うことができません。

- **電源が「入/切」どちらの状態でも設定できます。**

例:午前10時10分に合わせるとき

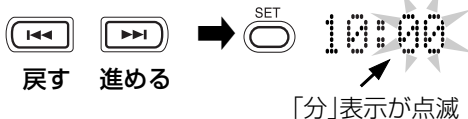
1 時計/タイマー **を押す**

- 時計が設定されていないときは、「0:00」と表示され、「0」が点滅します。

2分以内に

2 ▶▶I(または I◀◀)と SET で時刻を合わせる

- ▶▶I(またはI◀◀)を押し続けると、連続して変わります。

「時」を合わせる

「分」を合わせる

- 電源「入」で設定したときは、約2秒でソース(音源)の表示に戻ります。
- 「分」を合わせているとき(SETを押す前)に、CANCELを押すと「時」の設定に戻れます。

時刻を数字ボタンで合わせる

手順2のとき数字ボタンを使って「時」と「分」を合わせることもできます。

午前12時にする :(+10) ➡ (2)

午後8時にする :(+10) ➡ (10)

(または (+10) を2回押したあと (0) を押す)

SET を押したあと

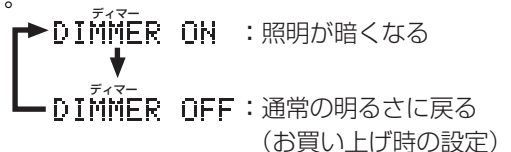
25分にする :(+10) ➡ (+10) ➡ (5)

30分にする :(+10) ➡ (+10) ➡ (10)

時刻を合わせ直す

時刻を合わせ直すときは、リモコンの**時計/タイマー**を4回押して、時計を表示させてから、**手順2**の操作をします。
現在時刻は、テレビ放送の時刻表示や電話の時報案内などを利用してください。

表示窓を暗くする(ディマー機能)

リモコンの ディマー **を押す**
押すごとに表示窓の明るさが次のように変わります。

使用中に時刻を知るには(MDが入っていないとき)

リモコンの 表示/文字 **を押す**
表示窓に時刻が表示されます。
元の表示に戻すときは、もう一度押します。

- MDデッキにMDが入っているときと、入っていないときでは表示の順番が変わります。(➡**24**ページ参照)

ご注意

- **この時計は、月に1分程度のズレを生じます。タイマー操作をするときは、事前に時刻を設定し直してください。**
- **電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、「0:00」表示に戻ります。もう一度正しい時刻に合わせてください。**

準備

基本操作（電源の入/切、イチ押しプレイ、音量の調節）

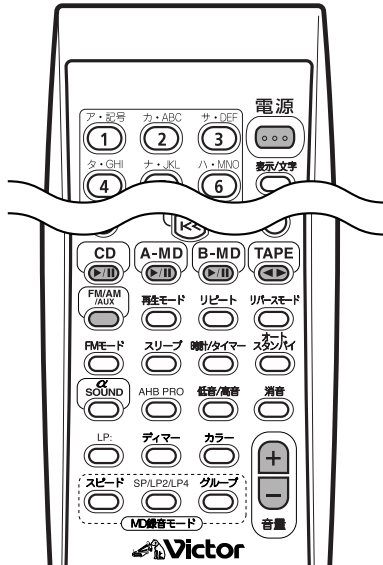
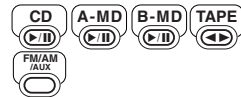
＊ 以後、本書では、主にリモコンを使った操作を説明します。本体のボタンで、リモコンのボタンと同じ名前や似た記号のボタンは、同じ働きをします。
また、本体だけのボタンで操作するときは、本体で説明します。

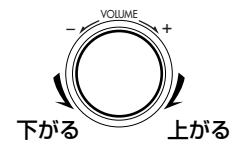
1 電源 **を押す**（本体は ⏻/I を下側に押す）

リモコン　　本　体

- 電源が入り、「HELLO」が表示されたあと、選ばれているソース（音源）名が表示されます。
- CD ▶/❚❚、A-MD ▶/❚❚、B-MD ▶/❚❚、TAPE ◀ ▶、FM/AM/AUXのいずれかを押したときも電源が入り、ソース（音源）も変わります。
  ➡ **イチ押しプレイと言います。**
  （CD、MDやテープが入っているときは、演奏が始まります）

お知らせ

- 電源「切」のとき⏏（CD取り出し）を押すと、電源が入りCDトレイが出てきます。
  ⏏ A MDまたは⏏ B MDを押すと、電源が入り、MDが入っているときは出てきます。
- **電源「切」のときは、消費電力を抑えるためMDを入れることはできません。無理に押し込むと故障の原因となります。**

2 再生するソース（音源）を選ぶ

	操　作	参照ページ
CDを聞く	CDを入れ、CD ▶/❚❚（CD ▷/❚❚）を押す	22
MDを聞く	A MDまたはB MDデッキにMDを入れ、A-MD ▶/❚❚（A MD ▷/❚❚）またはB-MD ▶/❚❚（B MD ▷/❚❚）を押す	23
ラジオを聞く	FM/AM/AUXを押して、聞きたい放送局を選局する	20
テープを聞く	テープを入れ、TAPE ◀ ▶（TAPE ◁ ▷）を押す	31
他の機器の音声を聞く	他の機器をつなぎ、FM/AM/AUXを押す	33

3 音量を調節する

- VOLUME 0〜40の範囲で調節できます。

使い終わったら…

電源（本体は ⏻/I）を押して電源を「切」にします。「SEE YOU」が表示されたあと表示窓に現在時刻が表示されます。

一時的に消音する

電話のときなど、ボタン一つで簡単に音を消すことができます。

消音 を押す

「FADE MUTING」(フェード ミューティング)が表示され、音量が「0」まで下がります。

再度音を出すときは、もう一度**消音**を押します。徐々に元の音量に戻ります。

- リモコンの**音量**または、本体の**VOLUME**つまみを操作して音量を上げることもできます。

重低音を強調する

AHB PRO を押す

押すごとに「オン↔オフ」が選べます。

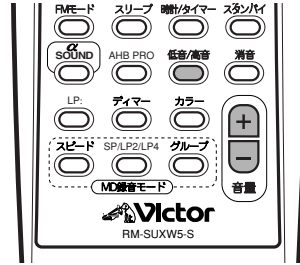
AHB PRO ON ⟷ AHB PRO OFF

(AHB PRO*オン)　(AHB PROオフ)

- 「オン」にすると表示窓に AHB PRO が表示され、クリアで迫力のある重低音が楽しめます。(お買い上げ時の状態)

* AHB PRO
Active Hyper Bass PRO(アクティブ ハイパー バス プロ)の略です。

音質を調節する

お好みの音質に調節することができます。

1 低音/高音 を押す

押すごとに、次のように切換わります。

BASS(バス)：低音を調節するとき選びます。
↓
TREBLE(トレブル)：高音を調節するとき選びます。
↓
ソース(音源)表示：音質調節のモードを解除します。

4秒以内に

2 表示窓に「BASS(バス)」または「TREBLE(トレブル)」が表示されている間に、音量 ＋/－ を押して音質を調節する

- 音質は−5〜0〜+5の範囲で調節できます。
- 調節から4秒後に元のソース(音源)の表示に戻ります。音質調節のモードも解除されます。

基本操作

基本操作（つづき）

αサウンドを使う

α波周波数のゆらぎで、いやしを目指したαサウンド*をお楽しみください。

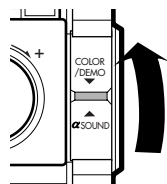
1 **αSOUNDを押す**（本体はαSOUNDを上側に押す）

- 押すごとに次のように変わります。

α SOUND NATURAL（ナチュラル）：自然な音の広がりを実現します。

α SOUND SMOOTH（スムース）：耳に快い音を実現します。

α SOUND DEEP（ディープ）：さらに深い音の広がりを実現します。

α SOUND OFF（オフ）：**αサウンド**解除（お買い上げ時の状態）

- αサウンドを「オン」にすると表示窓の αSOUND 表示が点灯し、ひろがりのある音が楽しめます。

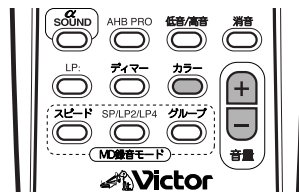
お知らせ

- αSOUNDは、スピーカーやヘッドホンの音に効きます。録音される音には影響がありません。

***αサウンドとは…**

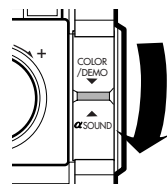
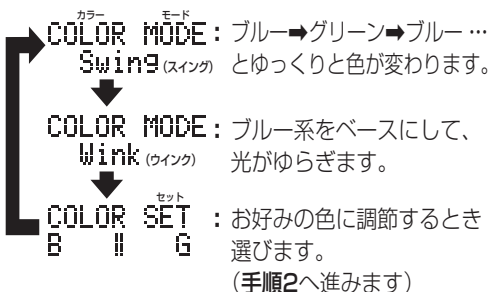
α（アルファ）波は、人がリラックスしているときに発生する脳波の一つと言われています。ビクターのαDIMENSION SOUNDは、サラウンド回路の要である左右差信号（L-R間接音）にα波周波数でゆらぎを与え（これをLFO変調といいます）、さらに抜け落ちやすい中音域の音楽信号を自然に補正することにより、聞くだけでリラックスできるような自然で心地よい音づくりを目指しました。

表示窓のカラーを変える

表示窓の背面色を変えることができます。

1 カラー **を押す**（本体はCOLOR/DEMOを下側に押す）

- 押すごとに次のように変わります。

COLOR MODE Swing（スイング）：ブルー➡グリーン➡ブルー …とゆっくりと色が変わります。

COLOR MODE Wink（ウインク）：ブルー系をベースにして、光がゆらぎます。

COLOR SET B ‖ G：お好みの色に調節するとき選びます。（手順2へ進みます）

- 「Swing」または「Wink」を選んだときは、そのまま（約4秒）待つとソース（音源）の表示に戻り、表示窓の背景色が変わります。

「COLOR SET」を選んだとき　4秒以内に

2 **＋／－を押して色を調節する**

- 本体のときは、VOLUMEつまみで調節します。

カラーバーがG(グリーン)側に移動します。緑が強くなります。

カラーバーがB(ブルー)側に移動します。青が強くなります。

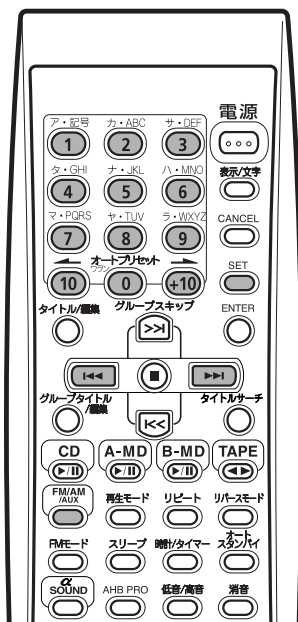
カラーバー

- 色を調節したあと、約4秒待つとソース（音源）の表示に戻ります。

放送局を記憶させる（プリセット）

選局した放送局を記憶(メモリー)しておくと、簡単に呼び出すことができます。
放送局を記憶させる方法には、選局から記憶までを自動で行う**オートプリセット**と、手動で選局と記憶を行う**マニュアルプリセット**があります。
• AM放送は最大15局、FM放送は最大30局まで記憶させることができます。
• **リモコンで操作します。**

オートプリセット

1 **FM/AM /AUX（本体は FM/AM /AUX）を押してFMまたはAMを選ぶ**

2 **オートプリセット 0 を2秒以上押す**

受信できる放送局が自動で記憶され、その局のプリセット番号と受信周波数が表示されます。オートプリセットが終了すると、プリセット番号1に記憶した放送局が受信されます。
• 受信できるすべての放送局が記憶されるか、プリセットの最大数（FMで30局、AMで15局）まで記憶されると、オートプリセットは終了します。
• 雑音の多い放送局もプリセットされることがあります。このようなときは、マニュアルプリセットで選び直してください。
• 前に記憶されていた放送局があっても、新しくプリセットされた放送局が上書きされます。

マニュアルプリセット

1 **FM/AM /AUX（本体は FM/AM /AUX）を押してFMまたはAMを選ぶ**

2 **▶▶I（または I◀◀）を押して記憶させる放送局を選ぶ**

➡**20**ページ「オート選局/マニュアル選局」参照。

3 **SET を押す**

プリセット番号1が点滅します。
• 約5秒間点滅します。その間に次の操作をしないときは、**手順2**に戻ります。

4 **数字ボタン（ア・記号 1 ～ 10、+10）を押してプリセット番号を選ぶ**

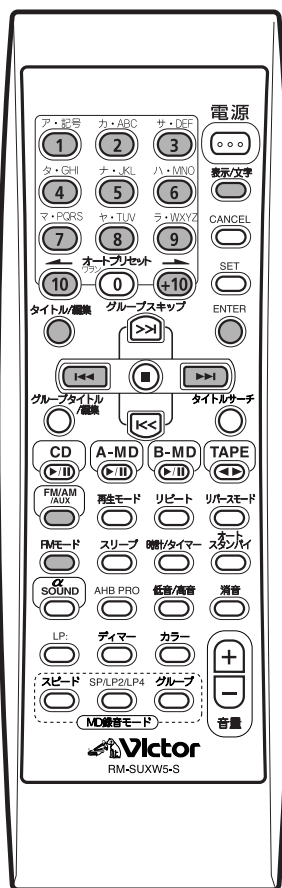
• すでに記憶されていたプリセット番号を指定すると、新しく選んだ放送局が上書きされます。
• 数字ボタンの使いかたは、**21**ページの「記憶（メモリー）した放送局を選局する」を参照してください。

5 **SET を押す**

約2秒間、「STORED」が表示されます。表示が消えると記憶(メモリー)されます。

ご注意

• **電源コードをコンセントから抜いたり停電があると、記憶(メモリー)した放送局が消去されることがあります。**

ラジオ放送を聞く

お知らせ

- マニュアル選局の場合、FM放送では0.05MHzずつ、AM放送では9kHzずつ周波数が変わります。

FM放送	0.05MHzずつ	：76.00MHz～108.00MHz
AM放送	9kHzずつ	：531kHz～1629kHz

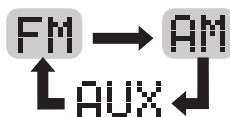
- 本機は、テレビ1ch：95.75MHz、2ch：101.75 MHz、3ch：107.75MHzの音声を受信することができます。
- 電源を「切」にしたり他のソース(音源)に切換えたとき、最後に受信していた放送局が記憶されます。再びラジオ放送に切換えると、同じ放送局が受信できます。
- **本機はAMステレオ放送には対応しておりません。**

オート選局/マニュアル選局

放送局を選ぶ方法には、オート選局とマニュアル選局があります。

1 FM/AM /AUX (本体は FM/AM /AUX)を押してFMまたはAMを選ぶ

ソース(音源)がラジオ放送になります。

- 押すごとに次のように切換わります。

2 ►►I (または I◄◄)を押して放送局を選ぶ

2つの選局方法があります。

オート選局

►►I(またはI◄◄)を押し続け、周波数が変わり始めたらボタンを離します。十分に電波の強い放送局を受信すると自動で止まります。途中で止めるときは、►►I(またはI◄◄)を「ポン」と押します。

マニュアル選局

►►I(またはI◄◄)を押すごとに周波数が変わります。►►Iを押すと周波数が上がり、I◄◄を押すと下がります。

- FMステレオ放送を受信すると、STEREO表示が点灯します。
- 電波が弱く、オート選局が自動で止まらないときはマニュアル選局に切換えてください。

記憶(メモリー)した放送局を選局する

「放送局を記憶させる」(➡**19**ページ参照)の操作で記憶(メモリー)させた放送局を呼び出します。
リモコンの数字ボタンを使います。

1 **FM/AM /AUX(本体は FM/AM /AUX)を押してFMまたはAMを選ぶ**

2 **数字ボタン(1 ～10、+10)で放送局を選ぶ(プリセット選局)**

1～10のプリセット番号を選局するとき

数字ボタンの 1 ～ 10 のいずれかを押します。

11以上のプリセット番号を選局するとき

15を選局する：+10 ➡ 5

20を選局する：+10 ➡ 10
と押します。

21以上のプリセット番号を選局するとき

25を選局する：+10 ➡ +10 ➡ 5

30を選局する：+10 ➡ +10 ➡ 10
と押します。

- 受信中はプリセット番号と受信周波数が表示されます。

受信モードを切換える

FMステレオ放送が雑音で聞きにくいときは、リモコンのFMモードを押します。MONO表示が点灯し、聞きやすくなることがあります(このとき音声はモノラルになります)。別の放送局を受信すると自動的にステレオ受信に変わり、STEREO表示が点灯します。

リモコン

放送受信中に時計やMDの録音残量表示を見るには

表示/文字を押します。時計表示に切換わります。
B MDデッキにMDが入っているときは、**表示/文字**を押すごとに、「MDの録音残量表示➡現在時刻」と切換わります。
もう一度押すと、「放送受信中の表示」に戻ります。

リモコン

放送局名を入力する(最大8文字)

プリセット選局で受信中の放送局に、最大8文字までの局名をつけることができます。なお、オート選局やマニュアル選局で聞いているときはできません。マニュアルプリセットをしてから操作してください。

1. タイトル/編集 **を押す**

2. 表示/文字 **と数字ボタン(1 ～9、0)で局名を入力する**

➡ 文字の入力方法は**44**ページの「タイトルをつける(つづき)」の**手順5～6**参照

3. ENTER **を押す**

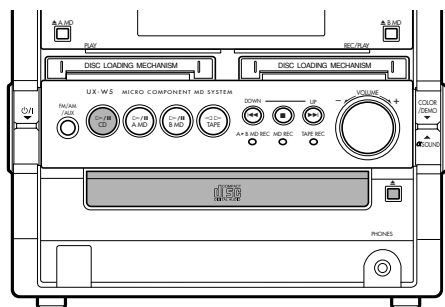
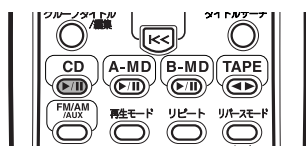
- 「STORED」が表示され、入力した局名が登録されます。

お知らせ

- 放送局名を入力したあと、オートプリセットやマニュアルプリセットの操作をすると局名が削除され、プリセット番号表示になります。
- FM放送の場合、0.05MHzステップでプリセットした放送局(例えば81.35MHzの放送局)には、局名の入力ができません。

ラジオを聞く

CDを聞く

本　体

リモコン

CD についているマークを確認して

文字のある面に COMPACT disc DIGITAL AUDIO、COMPACT disc DIGITAL AUDIO Recordable または COMPACT disc DIGITAL AUDIO ReWritable のいずれかマークが入っているCDをお使いください。DVDやビデオCDは再生できません。

- 本機では、CD規格（CD-DA）に準拠しないディスクについては、動作や音質を保証できません。
  CDを再生する際には、「CDロゴマーク」の有無や、パッケージのご注意をお読みになり、CD規格に準拠するディスクであることをお確かめください。

CD-R/CD-RW ディスクについて

お客様が編集したCD-R/CD-RWディスクは、ファイナライズ処理されているディスクに限り本機でお楽しみいただけます。

- 音楽用のCDフォーマットで記録されたCD-R/CD-RWディスクが演奏できます。
  ただし、ディスクの特性・記録状態・傷・汚れ、またはプレーヤーのレンズの汚れ・結露などにより本機で再生できないことがあります。
- CD-R/CD-RWディスクをお使いになる前に、ディスクの使用上のご注意をよくお読みください。
- MP3 などの音声ファイルの再生または CD テキストの表示には対応しておりません。
- 音楽用のCDフォーマット以外で記録したことのあるCD-RWディスクは、いったん全曲を消去してください。そのまま使用すると、突然大きな音が出てスピーカーを破損するなどの原因になります。

ご注意

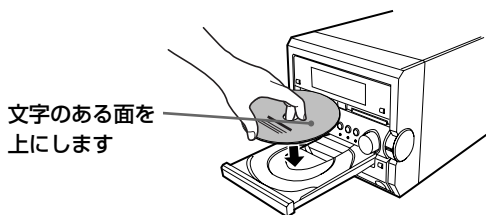
- キャッシュカードや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、CDトレイと形状が合わないため、故障の原因となります。絶対に使用しないでください。
- CDにセロハンテープが張ってあったり、レンタルCDのラベルなどの糊がはみ出したり、はがしたあとのあるCDは使用しないでください。そのままCDプレーヤーに入れると、CDが取り出せなくなるなど故障の原因となります。

1 本体の ⏏ を押す

CDトレイが出てきます。

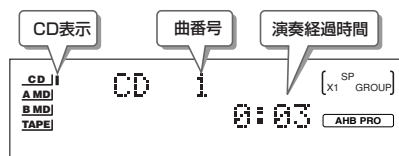
- 電源「切」のときは、電源が入ります。

2 CDをCDトレイに置く

- 8センチCDは内側の凹部に置きます。

3 本体の ⏏ を押してCDトレイを閉める

4 CD ▷/II （本体は ▷/II CD ）を押す

ソース（音源）がCDになり、演奏が始まります。
CDの演奏が終わると自動停止します。

例：CD を演奏中の表示

- 停止中は、総曲数と総演奏時間が表示されます。

表示窓のCD表示について

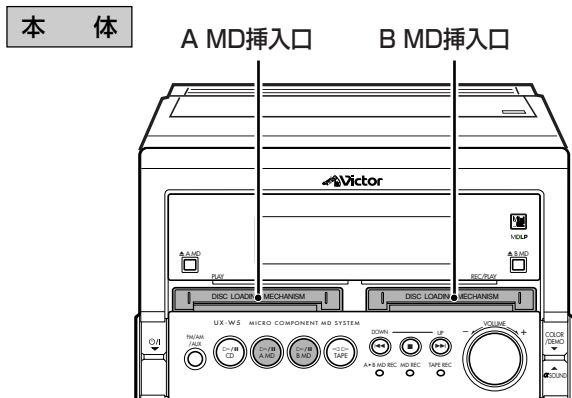
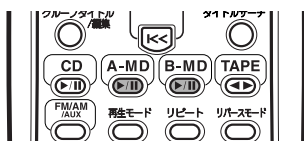
CD表示
CD
A MD
B MD
TAPE

ソース（音源）が「CD」の場合、CDトレイに入れたCDが読み込まれると、CD表示が点灯します。
CDトレイが出てくるとCD表示は消灯します。

- 演奏中および一時停止中は点滅します。

MDを聞く

本機のMDプレーヤーは、MD**LP**(「MD**LP**について」参照)で録音された曲の演奏に対応しています。

本　体

リモコン

MD**LP**について

音声圧縮技術**ATRAC3**により、MDを最長4倍の長さに使えるステレオ長時間録音モードをMD**LP**といいます。LP4モードでは、4倍長ステレオ録音ができ80分MDで最長320分の録音･再生が可能です(LP2モードでは2倍長ステレオ録音･再生)。

MDの再生モード

MDは録音したときの録音モード(SP、LP2、LP4)に従って演奏されます。演奏が始まると、その曲の再生モード(録音モードと一致します)が表示窓に表示されます。

- **SP**　：本機でステレオ録音したMDまたはMD**LP**に対応していないMDレコーダーで録音したMDのとき
- **LP2**：2倍長時間録音(ステレオ)したMDのとき
- **LP4**：4倍長時間録音(ステレオ)したMDのとき

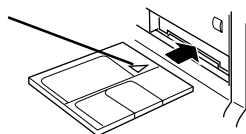
表示窓のMD表示について

A MD（またはB MD）挿入口にMDを入れると、表示窓のA MD（またはB MD）表示が点灯します。

- 演奏中および一時停止中は点滅します。

MD表示が点灯しているとき、新たにMDは入りません。無理に押し込むと故障の原因となります。

1　MD挿入口(A MDまたはB MD)にMDを入れる

矢印のある面を上にして、矢印の向きに正しく差し込みます。MDは途中から中に引き込まれます。

ソース(音源)がA MD(またはB MD)の場合、「AMD(またはB MD) READING」と表示されたあと、総曲数と総グループ数*、総演奏時間が表示されます。ディスクにタイトルがあるときは、ディスクタイトルが表示されてから、総演奏時間が表示されます。長いタイトルはスクロール表示されます。

- ソース(音源)がA MD(またはB MD)の場合、未録音のMDを入れると「BLANK DISC」と表示されます。

2　A MDデッキのとき:

B MDデッキのとき:

ソース(音源)がA MD(またはB MD)になり、演奏が始まります。

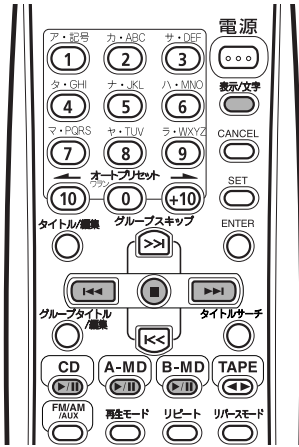
曲番号や演奏経過時間、グループ番号が表示されます。曲にタイトルがあるときは、曲タイトルが表示されてから、演奏経過時間が表示されます。長いタイトルはスクロール表示されます。

A MD(またはB MD)の演奏が終わると自動停止します。

例：A MDを演奏中の表示

＊グループ分けされていないときは「ーー」表示になります。

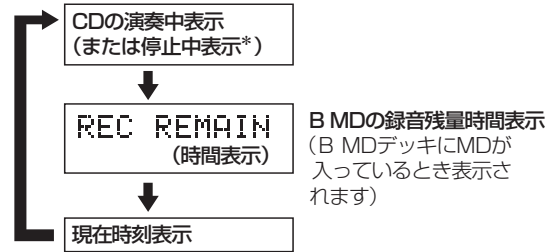
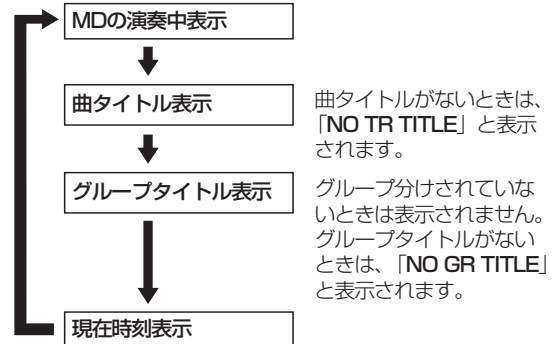
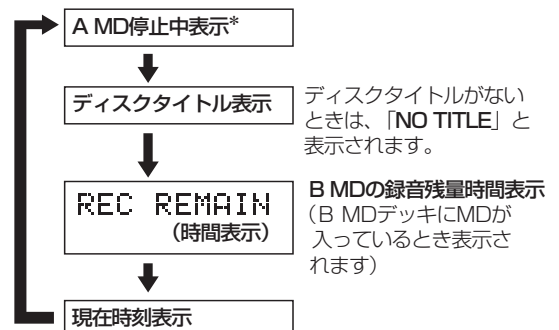
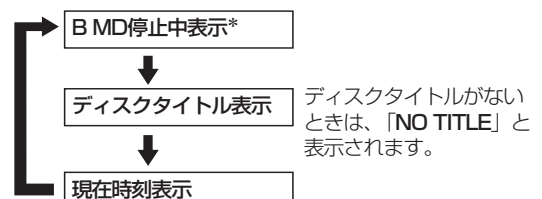
CD／MDを聞く

CD/MDの基本操作

基本操作

	操　　作
演奏をとめる	■（停止）を押します。 総曲数と総演奏時間が表示されます。
一時停止する	**CD演奏中に：** CD ▶/II（CD ▷/II）を押します。 **A MDまたはB MD演奏中に：** A-MD ▶/II（A MD ▷/II）または B-MD ▶/II（B MD ▷/II）を押します。 - - - - - 演奏経過時間が点滅します。 もう一度押すと、停止したところから演奏を再開します。
曲の頭出し（スキップ）	I◀◀ ：押すごとに戻ります。演奏中に押すと、その曲の頭に戻ります。 ▶▶I ：押すごとに次曲の頭に移ります。 - - - - - 停止中に押すと、曲ごとの演奏時間が表示されます。
曲の早送り・早戻し（サーチ）	**演奏中に押し続けます。** I◀◀ ：早戻しができます。 ▶▶I ：早送りができます。 - - - - - 演奏音が小さく聞こえます。
CDを取り出す	本体の▲（CD取り出し）を押します。 CD トレイが出てきます。
MDを取り出す	**A MDのとき：** 本体の**A MD▲**を押します。 A MD挿入口からMDが出てきます。 **B MDのとき：** 本体の**B MD▲**を押します。 B MD挿入口からMDが出てきます。 - - - - - 演奏中は、停止してからMDが出てきます。 **必ずMDを取り出してから、他の操作をしてください。**

表示窓の表示を変える

表示 / 文字を押します。
押すごとに次のように変わります。

- **CD演奏中(または停止中)のとき**

- **A MDまたはB MD演奏中のとき**

- **ソース(音源)がA MDで停止中のとき**

- **ソース(音源)がB MDで停止中のとき**

＊総曲数と総演奏時間が表示されます。

聞きたい曲を指定する(ダイレクト演奏)

リモコンの数字ボタンを使います。

1　CDのとき　：CD ➡ ■を押す

A MDのとき：A-MD ➡ ■を押す

B MDのとき：B-MD ➡ ■を押す

演奏するソース(音源)にします。

2　聞きたい曲を数字ボタン(1 ～ 10、+10)で選ぶ

1～10の番号を選ぶとき

数字ボタンの 1 ～ 10 のいずれかを押します。

11以上の番号を選ぶとき

15を指定する：+10 ➡ 5

20を指定する：+10 ➡ 10

と押します。

21以上の番号を選ぶとき

25を指定する：+10 ➡ +10 ➡ 5

30を指定する：+10 ➡ +10 ➡ 10

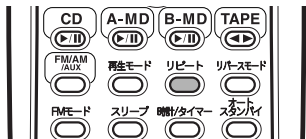
と押します。

押した数字の曲番号が表示され、ダイレクト演奏が始まります。

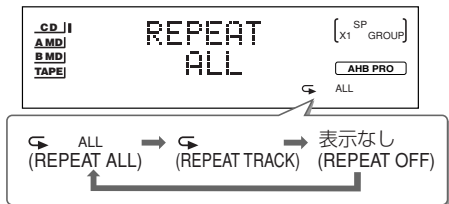
- 演奏中も別の曲に変更できます。
  聞きたい曲番号を選んでください。

CD／MDを聞く

CD/MDのリピート演奏

聞きたい曲をくり返して聞くことができます。
MDの場合、A MDとB MDデッキを連続してくり返し演奏することもできます。
ソース(音源)がCD、A MD、B MDのとき、リモコンを使って設定します。

ソース(音源)がCDのとき:

1 リピート **を押してリピートモードを選ぶ**

押すごとに、リピート表示は次のように切換わります。

REPEAT ALL（全曲リピート演奏）：CDの全曲をくり返し演奏します。演奏中に選ぶと、その曲から全曲演奏をくり返します。
プログラム演奏、ランダム演奏と同時に使うことができます。

REPEAT TRACK（1曲リピート演奏）：現在演奏中の曲、またはこれから演奏する1曲をくり返します。

REPEAT OFF：リピート演奏を解除します。

- 停止中に設定したときは、CD ▶/❚❚を押して演奏を始めます。

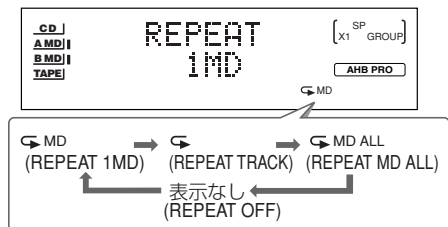
リピート演奏のモードを解除する

リピートをくり返し押して「REPEAT OFF」を選びます。

- CDまたはMDを取り出したり電源を「**切**」にしても、リピート演奏のモードは解除されます。
- MDの場合、「REPEAT MD ALL」のときは、停止中に**再生モード**を押して解除することもできます。

ソース(音源)が A MDまたは B MDのとき:

1 リピート **を押してリピートモードを選ぶ**

押すごとに、リピート表示は次のように切換わります。

REPEAT 1MD（1枚MD全曲リピート演奏）：演奏するMDデッキの全曲をくり返し演奏します。演奏中に選ぶと、その曲から全曲演奏をくり返します。
プログラム演奏、ランダム演奏、MDのグループ演奏と同時に使うことができます。

REPEAT TRACK（1曲リピート演奏）：現在演奏中の曲、またはこれから演奏する1曲をくり返します。

REPEAT MD ALL（A MD➡B MD連続リピート演奏）：A MDとB MDデッキの両方のMDが連続してくり返し演奏します。
A MDとB MDデッキが両方とも通常演奏のときだけ選べます。

REPEAT OFF：リピート演奏を解除します。

- 停止中に設定したときは、A MD ▶/❚❚またはB MD ▶/❚❚を押して演奏を始めます。

MDのグループ演奏と組み合わせると

MDのグループ演奏(➡**29**ページ「MDのグループ演奏」参照)と組み合わせると、下のようにくり返します。

REPEAT 1MD：1つのグループ内の全曲をくり返します。

REPEAT TRACK：現在演奏中の曲またはこれから演奏する1曲をくり返します。

CD/MDのプログラム演奏

最大32曲までプログラムして聞くことができます。
リピート演奏と組み合わせて楽しむこともできます(➡**26**ページ「CD/MDのリピート演奏」参照)。

- CDの曲、A MDの曲、B MDの曲を一緒に使うプログラム演奏はできません。

1 CDのとき　：CD ➡ ■を押す

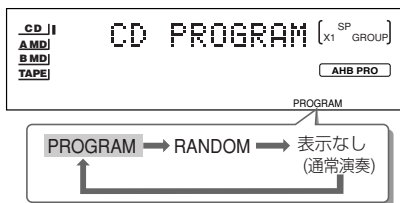
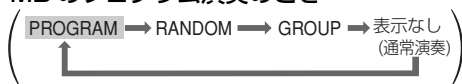
A MDのとき：A-MD ➡ ■を押す

B MDのとき：B-MD ➡ ■を押す

演奏するソース(音源)にします。

2 再生モードを押して「PROGRAM」を選ぶ

押すごとに、演奏モードは次のように切換わります。

例：CD のプログラム演奏のとき

MD のプログラム演奏のとき

- すでにプログラムがされているときは、曲番号、プログラム番号および総演奏時間が表示されます。

3 数字ボタン(1 ～10、+10)を押してプログラムする

- 数字ボタンの使いかたは**25**ページ「聞きたい曲を指定する(ダイレクト演奏)」を参照してください。

- **プログラムを修正するときは、**CANCELを押します。プログラムの最後の曲から順番に削除されます。
  CANCELを押し続けると、プログラムの内容をすべて削除することができます。
- 33曲目をプログラムすると、「MEMORY FULL」と表示され、これ以上はプログラムできません。
- プログラムの総演奏時間が、CDは1時間40分以上、MDは2時間30分以上になると、「－－：－－」と表示されます。

4 CDのとき　：CD を押す

A MDのとき：A-MD を押す

B MDのとき：B-MD を押す

プログラムした曲の演奏が始まります。

- プログラムした曲の演奏がすべて終わると自動停止します。

プログラムの内容を確認する

停止中に ▶▶|(または |◀◀)を押すと、プログラムの曲順を確認することができます。

プログラム演奏のモードを解除する

停止中に**再生モード**をくり返し押して、表示を「PROGRAM」以外にします。

- プログラム内容は削除されません。再びプログラム演奏に切換えると、同じプログラム内容で楽しむことができます。

プログラム内容をすべて削除する

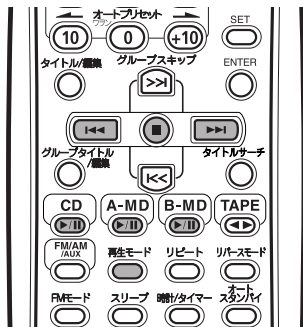
停止中にCANCELを押し続けるかCDまたはMDを取り出します。または電源を「**切**」にします。

CD/MDのランダム演奏

本機がランダム(無作為)に曲を選んで演奏します。
リピート演奏と組み合わせて楽しむこともできます(➡26ページ「CD/MDのリピート演奏」参照)。
- **CD、A MD、B MDを組み合わせたランダム演奏はできません。**

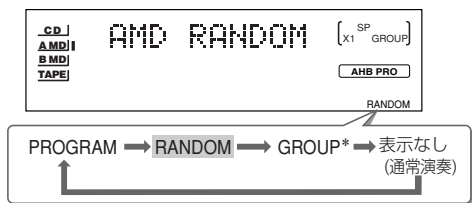
1 **CDのとき　：CD ➡ ■を押す**

A MDのとき：A-MD ➡ ■を押す

B MDのとき：B-MD ➡ ■を押す

演奏するソース(音源)にします。

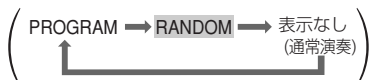
2 **再生モード を押して「RANDOM」を選ぶ**

押すごとに、演奏モードは次のように切換わります。

例：A MDのランダム演奏のとき

＊ **GROUP**は、ソース(音源)がA MDまたはB MDのとき表示されます。

CDのランダム演奏のとき

3 **CDのとき　：CD を押す**

A MDのとき：A-MD を押す

B MDのとき：B-MD を押す

最初の曲の曲番号が表示され、演奏が始まります。
- ▶▶| を押すと、現在演奏中の曲を飛ばして次の曲を演奏します。
- |◀◀ を押すと、演奏中の曲の頭出しをします。前の曲には戻れません。
- 収録されている曲の演奏がすべて終わると自動停止します。
- 一度演奏した曲は、再び選曲されません。

ランダム演奏のモードを解除する

停止中に**再生モード**をくり返し押して、表示を「**RANDOM**」以外にします。または電源を「**切**」にします。

お知らせ

- ランダム演奏とリピート演奏を組み合わせると、ランダム演奏の曲順はくり返されるたびに異なります。

MDのグループ演奏

本機には、MDのグループ機能(➡**50**ページ「MDをグループ編集する」参照)があり、登録したグループ単位で演奏できます。
リピート演奏と組み合わせて楽しむこともできます(➡**26**ページ「CD/MDのリピート演奏」参照)。

1　A MDのとき：A-MD ➡ ■を押す

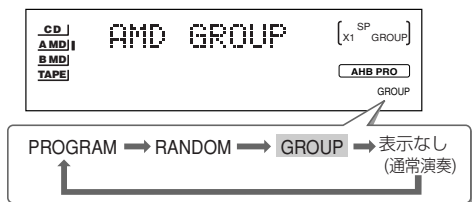
B MDのとき：B-MD ➡ ■を押す

ソース(音源)がA MDまたはB MDになります。

2　再生モード を押して「GROUP」を選ぶ

押すごとに、演奏モードは次のように切換わります。

例：A MD のグループ演奏のとき

3　A MDのとき：A-MD を押す

B MDのとき：B-MD を押す

グループ1の最初の曲番号が表示され、演奏が始まります。

- グループが1つもないときは、通常演奏と同じになります。GROUP表示が消えます。
- グループ1を聞くときは、**手順4**の操作をしないで、このままお聞きください。
  グループ登録された曲の演奏がすべて終わると自動停止します。

4　グループスキップ >>I (または I<<)を押して演奏するグループを選ぶ

選んだグループの最初の曲番号が表示され、演奏が始まります。

グループ登録された曲の演奏がすべて終わると自動停止します。

同じグループ内の演奏曲を変える

▶▶I (または I◀◀)を押します。

他のグループの曲や、グループ登録されていない曲を選ぶことはできません。

演奏グループを変える(グループスキップ)

グループ演奏中に>>I (または I<<)を押します。

- 通常演奏中に上記の操作をすると、そのグループの最初の曲からMDの最後の曲まで演奏されます。

グループ演奏のモードを解除する

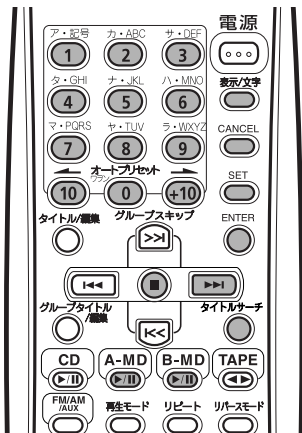
停止中に**再生モード**をくり返し押して、表示を「GROUP」以外にします。

- MDを取り出したり電源を「**切**」にしても、グループ演奏のモードは解除されます。

MDのタイトルサーチ

本機では、MDの曲タイトルやグループタイトルを探して(タイトルサーチ)演奏することができます。

1 **A MDのとき:A-MD(►/II) ➡ ■を押す**

B MDのとき:B-MD(►/II) ➡ ■を押す

ソース(音源)がA MDまたはB MDになります。

2 **曲タイトルを探すとき:**

タイトルサーチを1回押してから、SETを押す

TRACK
 T.SEARCH

グループタイトルを探すとき(グループ分けされているときのみ):

タイトルサーチを2回押してから、SETを押す

GROUP
 T.SEARCH

表示窓に入力表示が現れます。

- 曲タイトルのときはSEARCH表示、グループタイトルのときは、SEARCH表示とGROUP表示(グループ分けされているときのみ)が現れます。
- 演奏中のときは停止します。
- ソース(音源)がMD以外のときは、タイトルサーチができません。

3 **探したいタイトルを入力する**

探したいタイトルの最初の1〜5文字まで入力します。

例:「F」と入力したときは、「F」で始まるタイトルを曲番号順に探します。
「Frien」と入力したときは、「Frien」で始まるタイトルを曲番号順に探します。

入力には次のボタンを使います。

表示/文字	:文字の種類を切換えます。
+10(または10)	:入力位置を移動します。
数字ボタン(1〜9、0)	:文字を入力します。
CANCEL	:入力した文字を消去します。

- 詳しい入力方法は**44**ページの「タイトルをつける」の**手順5、6**を参照してください。
- 空白(スペース)も文字として扱われますが、空白(スペース)の後ろに文字がないときは、無視されます。
- 英大文字と英小文字は区別されます。
- タイトルが記録されていない曲(NO TITLE)を探すときは、何も入力しないで**手順4**に進みます。
- 途中でやめるときは、**タイトルサーチ**を押します。

4 **ENTERを押す**

「SEARCH」と表示され、タイトルサーチが始まります。曲が見つかると演奏が始まります。演奏が終わると再び次のタイトルサーチが始まります。

- 曲が見つからないときは、「SEARCH END」と表示され、自動停止します。

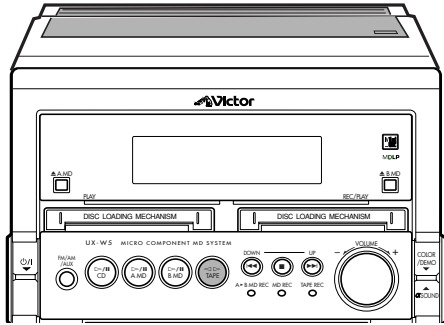
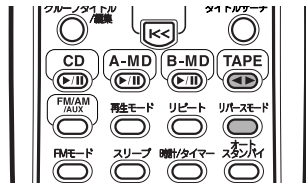
次の曲(またはグループ)を探すには

►►I を押すと、「SEARCH」と表示され次の曲(またはグループ)のタイトルサーチが始まります。曲(またはグループ)が見つからないときは、「SEARCH END」と表示され、タイトルサーチが終了します。

探していた曲が見つかりタイトルサーチをやめる

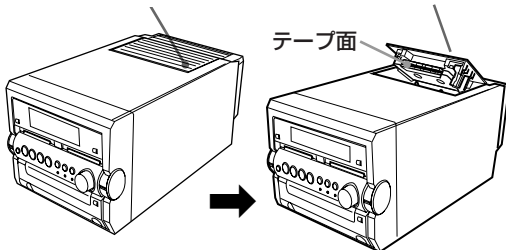
タイトルサーチを押します。タイトルサーチが解除され、演奏中の曲の頭に戻って演奏を続けます。

テープを聞く

本　体

リモコン

1　カセットホルダーの ⏏ (PUSH OPEN) 部分を押して開け、テープを入れる

A面を上にし、テープの見える面を手前にして入れます。

⏏（PUSH OPEN）部分を押してカセットホルダーを開ける

⏏（PUSH OPEN）部分を押してカセットホルダーを閉める

- C-90（90分）以下の長さのテープをご使用ください。
- カセットホルダーを閉めるときは、「カチッ」と音がするまで確実に押して閉めてください。

ご注意

- テープにたるみがあると、機械内部に巻き込まれたり故障の原因となります。ご使用の前にたるみを取り除いてください(➡**63**ページ参照)。
- C-120やC-150などの長時間テープは、使用しないでください。長い時間の録音または再生に便利ですが、テープが薄く伸びやすいため、機械内部に巻き込まれる原因となります。

お知らせ

- 本機は、ノーマルテープ（TYPE I）の再生に対応しています。ハイポジションテープ（TYPE II）やメタルテープ（TYPE IV）は、特性が異なるためお勧めできません。再生すると音質が変わります。

2　リバースモード を押してリバースモードを選ぶ

押すごとに、表示窓のリバースモード表示は次のように切換わります。

- ⇄) ：A面(おもて面)からB面(うら面)への**往復再生**
- (⇄) ：AB両面の**連続再生**（再生を停止するまでくり返し）
- ⇄ ：A面(おもて面)、またはB面(うら面)のみの**片道再生**

カセットホルダーを開けるとリバースモードは ⇄) に戻ります。

3　TAPE ◄► （本体は TAPE ）を押す

テープの再生が始まります。

- TAPE ◄► を押すごとに、テープの走行方向が変わります。テープを入れた最初は、必ず**順方向(おもて面…A面)**から走行します。
- テープのA面再生中は右向きのテープ走行方向表示（►）が、テープのB面再生中は左向きのテープ走行方向表示（◄）が表示されます。
- ⇄ または ⇄) で再生した場合、テープが巻き終わると自動停止します。

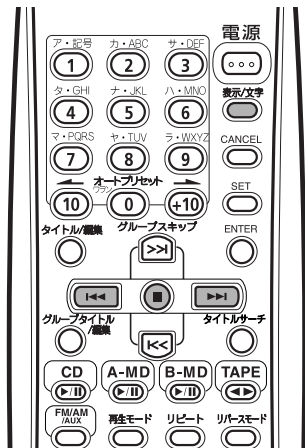
表示窓のTAPE表示について

カセットホルダーにテープを入れて閉めると、TAPE表示が点灯します。カセットホルダーを開けるとTAPE表示は消灯します。

- 再生中は点滅します。

CD / A MD / B MD / TAPE

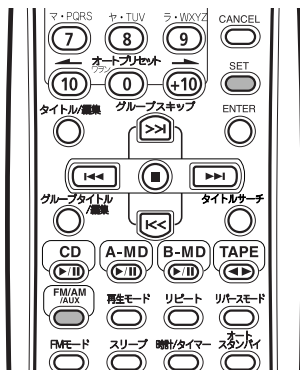
TAPE表示

基本操作

	操　作
再生をとめる	■（停止）を押します。
テープの早送り・巻き戻しをする	▶▶I または I◀◀ を押します。 • 順方向 (▶) の再生中は、▶▶I が早送り、I◀◀ が巻き戻しになります。 • 逆方向 (◀) の再生中は、I◀◀ が早送り、▶▶I が巻き戻しになります。

時計やMDの録音残量表示を見るには

表示/文字を押します。押すごとに「現在時刻と再生中の表示」に切換わります。
B MDデッキにMDが入っているときは、「MDの録音残量表示➡現在時刻」と切換わります。もう一度押すと、「再生中の表示」に戻ります。

他の機器の音声を聞く

本機背面のAUX端子に接続した他のオーディオ機器の音声を楽しむことができます。
• ご使用になる機器の取扱説明書をよくお読みになり、正しく接続してください。

ご注意

• 接続するときは、接続する機器だけでなく、本機側も必ず電源を「切」にしてから接続してください。

1　本機背面のAUX端子に他の機器をつなぐ

• レコードプレーヤーを接続するときは、フォノイコライザー(またはフォノイコライザー内蔵タイプ)が必要です。
• マイクを使うときは、オーディオミキサーMI-A40(別売り)を使います。
(➡**11**ページ「他の機器の接続」参照)

2　FM/AM /AUX を押して「AUX」を選ぶ

押すごとに次のように切換わります。

3　他の機器の再生を始める

• 詳しくは接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

4　音量などを調節する

(➡**16～18**ページ「基本操作」参照)

時計やMDの録音残量表示を見るには

表示/文字を押します。押すごとに「現在時刻とソース(音源)表示」に切換わります。
B MDデッキにMDが入っているときは、「MDの録音残量表示➡現在時刻」と切換わります。もう一度押すと、「ソース(音源)の表示」に戻ります。

他の機器の音声入力レベルを調節する

接続した他の機器の音声入力レベルを調節することができます。
ソース(音源)がAUXのとき操作します。

入力レベルが表示されるまで SET を押し続け、レベルを選ぶ

押し続けるごとに次のように切換わります。

LEVEL1：他の機器からの音声**入力レベルが大きいときに選びます。**
音声入力が小さくなります。
(お買い上げ時の設定)

↕

LEVEL2：他の機器からの音声**入力レベルが小さいときに選びます。**
音声入力が大きくなります。

• 表示された入力レベルの表示は、約2秒で消えます。

録音する前に

録音にはB MDデッキを使います。(A MDデッキは、再生専用です。)

MDに録音するとき

B MDに録音できるソース(音源)

MDには、CD、A MD、ラジオ放送、テープ、接続した他の機器(AUX)の音声が録音できます。

B MDでできる録音

ステレオ長時間録音(MDLP)

全てのソース(音源)の録音に使えます。

本機は、ステレオ長時間録音(MD**LP**)に対応しています。録音モード(SP:標準/LP2:2倍長/LP4:4倍長)のLP2またはLP4を使うと、ステレオ音声のまま2倍長または4倍長の長時間で録音できます。(➡**36**ページ「録音モードの設定」参照)

グループ録音

全てのソース(音源)の録音に使えます。

録音開始から終わりまでを1つのグループとして録音します(お買い上げ時の設定)。
ステレオ長時間録音のとき、ディスクごとやアーティストごとに1つのグループにしておくと便利です。

- グループとして録音しない設定にすることもできます。(➡**36**ページ「グループ録音の設定」参照)

CDの4倍速録音

CDの音声を録音するときに使えます。

本機は、CDの音声をB MDに等速/4倍速で録音することができます。
CDの音声を従来の約1/4の時間で録音できます。(➡**37**ページ「CDの録音」参照)

A MDの2倍速録音

A MDの音声を録音するときに使えます。

本機は、A MDの音声をB MDに等速/2倍速で録音することができます。
従来の約1/2の時間で録音できます。(➡**38**ページ「A MDの録音」参照)

1曲録音

CDまたはA MDの音声を録音するときに使えます。

演奏中の1曲だけを録音することができます。(➡**42**ページ参照)

シンクロ録音

CD、A MDまたはテープの音声を録音するときに使えます。(➡37～39ページ参照)

CD、A MDまたはテープの再生開始と同時にB MDの録音が開始します。
再生が終了すると録音も終了します。

サウンドシンクロ録音

接続した他の機器(AUX)の音声を録音するときに使えます。(➡39ページ参照)

接続した他の機器(AUX)からの音声信号に反応して録音を開始します。30秒音声が途切れると、録音を中止します。

トラックマークについて

MDには、曲ごとの頭の部分に曲番がついています。この曲番を「トラックマーク」と呼び、このトラックマークとトラックマークの間が「曲」としてみなされます。

- CD、A MDからの音声を録音するときは、曲の変わり目に自動でトラックマークがつきます。
- ラジオ、テープ、AUX(接続した他の機器)の音声を録音するときは、トラックマークをつけたいところでリモコンのSETを押してトラックマークをつける**マニュアルマーク方式**(お買い上げ時の設定)、5分間隔で自動的にトラックマークがつく**タイムマーク方式**、無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつく**オートマーク方式**があります。
  マニュアルマーク方式/タイムマーク方式/オートマーク方式の切換えについては、「ラジオ放送やテープ、他の機器の音声の録音」(➡ **39** ページ参照)をご覧ください。

録音をする前に

- 大切な録音の場合は、必ず等速で試し録音をして正常に録音できることを確認してからお使いください。(同じ曲の倍速録音は74分後になります)
- MDには最大254曲(トラック)まで録音することができます。これ以上録音しようとすると「DISC FULL」が表示されます。
- 音楽CDの音声は、デジタル信号のまま録音されます。CD-R/RWの音声は、「SCMS CANNOT COPY」が表示されデジタル録音できません。このようなときは、「**CD-R/CD-RWディスクの録音**(➡**36**ページ参照)」をご覧になり、アナログ録音してください。
  ラジオ、AUXの音声はアナログ信号をデジタル信号に変換してから録音されます。

- 途中まで録音してあるMDのときは、その終わりを自動的に探して未録音部分の始まりから録音されます。

  テープのように上書きで録音することはできません。
  新たに録音し直すときは、ALL ERASE (➡**49**ページ参照)で全部の曲を消してから録音してください。
- 録音をしながらMDに曲タイトルをつけることができます(➡**43**〜**45**ページ参照)。
- 録音中は、本機の音量･音質を変えても録音される音声には影響ありません。
- MDの録音残量時間は、そのMDの録音に使われるMDモード(SP/LP2/LP4)に応じて異なります。例えば標準モードのSPで録音したMDの場合、残り10分という残量表示は、2倍長時間録音(LP2)ではその2倍の約20分の残量表示となります。

ご注意

- **MDの録音/編集中は、本機に振動を与えないようにしてください。特に「WRITING」の表示中は注意してください。MDが演奏できなくなるおそれがあります。**

MDカートリッジのラベルについて

- **MDカートリッジのラベルは、はがれないように端の方までしっかりと張りつけてください。万一、ラベルエリアよりもはみ出したり、はがれかかったままお使いになると、MDが取り出せなくなったり、故障の原因になることがあります。**

HCMS(倍速録音での著作権保護)について

MDへの倍速録音では、著作権保護のため倍速(等速を超える)録音に関する規定があります(➡**61**ページ参照)。
- この規定により、CDから一度4倍速録音した曲またはA MDから一度2倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲(A MDの場合は、そのMD全曲)の再録音はできません。
- 74分が経過する前に同じ曲を録音しようとすると、「HCMS CANNOT COPY」が表示されて録音が停止します。

テープに録音するとき

録音に使うテープ

録音にはノーマルテープ(TYPE Ⅰ)を使います。他のテープは使えません。

テープに録音できるソース(音源)

テープには、CD、ラジオ放送、A MD、B MD、接続した他の機器(AUX)の音声が録音できます。

テープでできる録音

往復録音

全てのソース(音源)の音声を録音するときに使えます。
テープのリバースモードを往復(⊇)に設定すると、テープのおもて面からうら面に続けて録音することができます。

1曲録音

CDまたはA MD/B MDの音声を録音するときに使えます(➡42ページ参照)。
演奏中の1曲だけを録音することができます。

シンクロ録音

CDまたはAMD/B MDの音声を録音するときに使えます。
CDまたはA MD/B MDの演奏開始と同時にテープの録音が開始します。
演奏が終了すると録音も終了します。

録音をする前に

- テープにたるみがあると機械に巻き込まれたり、故障の原因になります。使用する前に**63**ページの図のようにしてたるみを取り除いてください。
  また、テープを引き出したり、テープ面に触れないでください。

ご注意

- **生演奏などで全体が1曲で録音されているMDをテープに往復録音するときは、あらかじめDIVIDE機能（➡47ページ参照）を使ってテープ片面の長さに合わせて2曲に分けてください。**

録音する

MDに録音する

ステレオ長時間録音（MDLP）について

本機はステレオ音声のまま2倍または4倍の長時間録音(MD**LP**)に対応しています。
1枚のMDに違うモード(SP: 標準/LP2: 2倍長時間/LP4: 4倍長時間)の曲を混在させて録音することもできます。MDの録音残量表示は録音モードの設定に応じて変わります。

SP　：**標準のステレオ録音**
（MD80で最大80分の録音）
LP2 ：**2倍長時間録音(ステレオ)**
（MD80で最大160分の録音）
LP4 ：**4倍長時間録音(ステレオ)**
（MD80で最大320分の録音）
ラジオ放送の長時間録音などに使用すると便利です。

お知らせ

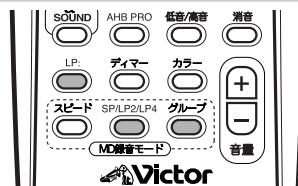
- 本機では、モノラル長時間録音はできません。
- 録音モードが長時間(SP→LP2→LP4)になるにしたがって、音質に差がでます。最良の音質で録音したいときは、SPモードにしてください。

ご注意

- **本機でステレオ長時間録音された曲は、「MDLP」の再生に対応した機器以外では再生できません。曲タイトルの始めに「LP:」と表示され、無音状態になります。**
  「MDLP」に対応した機器で再生すると、「LP:」は表示されません。
  また、リモコンのLP:を押すと、「LP:」をつけない設定にすることもできます。
- **MDの編集をするとき、録音モード(SP/LP2/LP4)の異なる曲をつなげる(JOIN)ことはできません。**

CD-R/CD-RWディスクの録音

CD-RまたはCD-RWディスクの音声をB MDに録音するとき、MD RECを押すと、表示窓に「SCMS CANNOT COPY」が表示されデジタル録音はできません。
このようなときは、録音スピードを「X1」(等速)にし、MD RECを4秒以上押します。
「ANALOG REC？」が表示されている間にもう一度MD RECを押して、アナログ録音で録音してください。

B MDに録音する前の設定

録音モードの設定

事前に録音するソース（音源）を選んでから、ステレオ長時間録音（MDLP）のモードを設定します。

SP/LP2/LP4 を押して録音モードを設定する

押すごとに録音モードが変わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2倍長）（4倍長）

LP:の設定

ステレオ長時間録音された曲の頭の部分にLP：をつける／つけないの設定をします。

LP: を押して設定する

(LP：) OFF：曲タイトルの頭に**LP：**がつきません。
(LP：) ON：曲タイトルの頭に**LP：**がつきます。

グループ録音の設定

これから録音する曲や放送などを一つのグループとして登録するときMD GROUPの設定を「ON」にします。

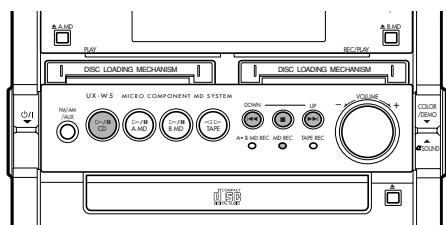
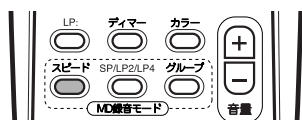
グループ を押して設定する

GROUP REC ON：グループとして録音します。MD録音状態表示のGROUPが点灯します。
GROUP REC OFF：グループとして録音しません。MD録音状態表示のGROUPは点灯しません。

MD録音状態表示について

CDの録音(基本操作)

1枚のCDをシンクロ録音します。
- 録音時のレベルは自動調節されます。

本　体

リモコン

1 **(CD) を押してから ■ を押す**

ソース(音源)をCDにし、停止状態にします。

2 **録音用のMDをB MDデッキに入れる**

録音モードの設定、LP:の設定、グループ録音の設定を確認しておきます(「B MDに録音する前の設定」➡**36**ページ参照)。
- 誤消去防止つまみを閉じておきます(➡**62**ページ参照)。

3 **リモコンの(スピード)を押して録音スピードを選ぶ**

押すごとに、次のように変わります。

X1 ⬌ X4
(等速)(4倍速)

- 4倍速録音中は、音声を聞くことはできません。

4 **(MD REC) を押す**

CDとB MDの録音が始まり、B MD表示が B MD❙REC (❙RECは点滅)になります。
CD表示の ❙ も点滅になります。

録音が終わると、「WRITING」と表示して自動的に終了します。
- B MDの録音残量時間がなくなると、自動停止します。

大切なお知らせ

CDを演奏中に本体のMD RECを押すと、**1曲録音**になり、演奏中の曲の録音が終了すると自動停止します。
CDの途中から録音するつもりで上記の操作をすると、演奏中以降の曲は録音されません。
このようなときは、CDの停止中に録音を開始する曲を選んでからMD RECを押します。

お知らせ

- 4倍速録音ではCDを高速で回転させるため、CDの状態によっては正しく録音されず、雑音などが録音されることがあります。
  このようなときは、等速で録音し直してください。
- 著作権保護のため、CDから一度4倍速録音した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲の再録音はできません(HCMS ➡**35**ページ参照)。

途中で録音をやめる

■(停止)を押します。
- CDとB MDが同時に停止し、「WRITING」と表示して録音が終了します。

▶▶❙または❙◀◀で曲番号を指定して途中の曲から録音する

CDの停止中に曲番号を指定します。
指定した曲番号以降の曲を録音します。
- **手順4**でMD RECを押す前に操作してください。

表示窓の表示内容を切換える

リモコンの**表示/文字**を押すごとに、「録音中のCDの曲番号と演奏経過時間・B MDの録音残量時間、B MDの曲番号・グループ番号、現在時刻」に切換わります。

CDのプログラム録音は、➡**42**ページ「プログラム録音」をご覧ください。

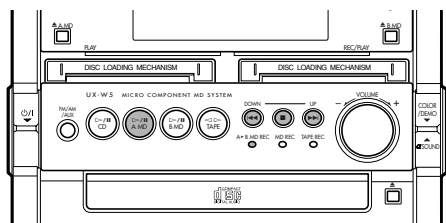
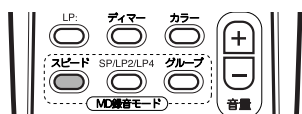
CDの1曲録音は、➡**42**ページ「1曲録音」をご覧ください。

録音する

MDに録音する（つづき）

A MDの録音

A MDの音声ををB MDにシンクロ録音をします（アナログ録音）。2倍速で録音することもできます。
• 録音レベルは自動調節されます。

本　体

リモコン

1 を押してから ⊙ を押す

ソース(音源)をA MDにし、停止状態にします。

2 録音用のMDをB MDデッキに入れる

録音モードの設定、LP:の設定、グループ録音の設定を確認しておきます（「B MDに録音する前の設定」➡**36**ページ参照）。
• 誤消去防止つまみを閉じておきます(➡**62**ページ参照)。

3 リモコンの スピード を押して録音スピードを選ぶ

押すごとに、次のように変わります。

X1 ⟷ X2
（等速）　（2倍速）

• 2倍速録音中は、音声を聞くことはできません。

4 A►B MD REC ○ **を押す**

A MDからB MDへの録音が始まり、B MD表示が B MD ❚ A➔B REC（❚ A➔B REC は点滅）になります。

A MD表示の ❚ も点滅になります。

録音が終わると、「WRITING」と表示して自動的に終了します。
• B MDの録音残量時間がなくなると、自動停止します。

大切なお知らせ

A MDを演奏中に本体の**A ► B MD REC**を押すと、**1曲録音**になり、演奏中の曲の録音が終了すると自動停止します。
A MDの途中から録音するつもりで上記の操作をすると、演奏中以降の曲は録音されません。
このようなときは、A MDの停止中に録音を開始する曲を選んでから**A ► B MD REC**を押します。

お知らせ

• 曲タイトルは、録音と同時にB MDにコピーされます。ディスクタイトルは、B MDがブランクディスクで録音するときに限り、録音と同時にコピーされます。
• 著作権保護のため、A MDから一度2倍速録音したMDは、そのMDの録音開始から74分が経過しないと、そのMDの再録音はできません(HCMS➡**35**ページ参照)。

途中で録音をやめる

■（停止）を押します。
• B MDとA MDが同時に停止し、「WRITING」と表示して録音が終了します。

►►❙ または ❙◄◄ で曲番号を指定して途中の曲から録音する

指定した曲番号以降の曲を録音します。
• **手順4**で**A ► B MD REC**を押す前に操作してください。

表示窓の表示内容を切換える

リモコンの**表示/文字**を押すごとに、「録音中のA MDの演奏経過時間・B MDの録音残量時間、A MDとB MDの曲番号・グループ番号、現在時刻」などに切換わります。

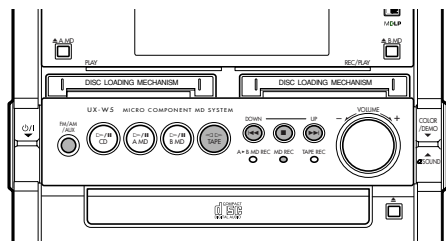
A MDのプログラム録音は、➡**42**ページ「プログラム録音」をご覧ください。

A MDの1曲録音は、➡**42**ページ「1曲録音」をご覧ください。

裏録音機能

A MDの音声をB MDに録音中、**CD ►/❚❚**（または本体の**CD ▷/❚❚**）を押してCDの演奏を聞くことができます。
また、CD演奏中に**A ► B MD REC**を押すと、A MDの音声をB MDに録音することもできます。
これを「**裏録音機能**」といいます。
途中で録音をやめるときは、**MDとCD**のソース（音源）ごとに■（停止）を押してください。

ラジオ放送やテープ、他の機器の音声の録音

テープのシンクロ録音や他の機器からのサウンドシンクロ録音ができます。
• 録音レベルは自動調節されます。

ご注意

• **接続する外部機器や演奏する音量によっては、うまく録音できないことがあります。そのようなときは、外部機器側の出力レベル設定などをし直してください。**

お知らせ

• サウンドシンクロ録音では、ソース（音源）の音声信号に反応して自動的に録音が始まります。
また、ソース（音源）の音が30秒以上途切れると、自動的に録音を終了します。このとき、録音を終了したMDの空白時間は約2秒になります。

1 録音するソース（音源）を選ぶ

ソース（音源）	操　作
ラジオ放送	FM/AM/AUXを押してFMまたはAMを選んでから、リモコンの数字ボタンなどで録音したい放送局を選局する。
テープ再生 (TAPE)	再生するテープを入れ、TAPE ◁ ▷ を押してから ■（停止）を押す。そのあとリモコンの**リバースモード**を押してリバースモードを選ぶ。
他の機器の音声 (AUX)	FM/AM/AUXを押してAUXを選び、他の機器の演奏を準備する。あらかじめ、他の機器の音声入力レベルを調節することもできます（➡**33**ページ参照）。

2 録音用のMDを入れる

録音モードの設定、LP:の設定、グループ録音の設定を確認しておきます（「B MDに録音する前の設定」➡**36**ページ参照）。
• 誤消去防止つまみを閉じておきます（➡**62**ページ参照）。

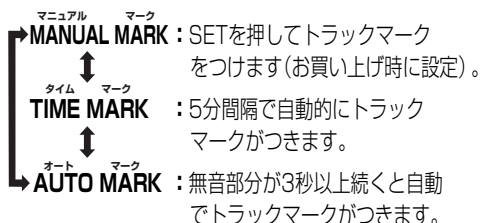
3 トラックマークのつけかたを選ぶ

3-1.「MANUAL MARK」が表示されるまで約4秒間MD RECを押す

次回からは設定した方式が表示されます。

3-2. 表示中に▶▶|（または|◀◀）を押して選ぶ

押すごとに次のように変わります。

MANUAL MARK（マニュアル マーク）：SETを押してトラックマークをつけます（お買い上げ時に設定）。
↕
TIME MARK（タイム マーク）：5分間隔で自動的にトラックマークがつきます。
↕
AUTO MARK（オート マーク）：無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。

4 MD REC ○ を押す

録音が始まり、B MD表示が B MD|❙REC（❙RECは点滅）になります。
• テープ再生の場合、録音開始に合わせてテープ再生もスタートします（**シンクロ録音**）。
• 他の機器からの録音の場合、「AUX➡B MD」と録音モードが表示されるのを待って、接続した機器の演奏を始めます。音声が入力されると、録音が自動的に始まります（**サウンドシンクロ録音**）。
また、B MD ▷/❙❙ を押して録音を始めることもできます。

40ページへ続く

録音する

MDに録音する（つづき）

ラジオ放送やテープ、他の機器の音声の録音(つづき)

トラックマーク(曲番号)をつける

マニュアルマーク方式(MANUAL MARK)のときは、録音中に曲の変わり目などで**SET**を押します。
タイムマーク方式(TIME MARK)のときは、5分間隔で自動的にトラックマークがつきます。**SET**を押してもトラックマークをつけることはできません。
オートマーク方式(AUTO MARK)のときは、録音中に無音部分が3秒以上続くと自動でトラックマークがつきます。**SET**を押してトラックマークをつけることもできます。
録音が終わったあとでもMDの編集機能(「曲を分ける(DIVIDE)」➡ **47** ページ参照)でトラックマークをつけることができます。MD全体を1曲として録音したときなど、あとから「分ける・一部消去する」などの編集機能をお使いください。

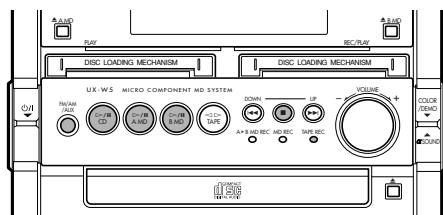
途中で録音をやめる

■（停止）を押します。
- 「WRITING」と表示して録音が終了します。

表示窓の表示内容を切換える

リモコンの**表示/文字**を押すごとに、「録音中のソース(音源)名とB MDの録音残量時間、B MDの曲番号・グループ番号、現在時刻」に切換わります。

テープに録音する

CDまたはMDのシンクロ録音、演奏中の曲だけを録音する１曲録音ができます。
- 曲間に4秒の**あき**(ブランク)を作って録音されます。録音レベルは自動調節されます。
- **録音にはノーマルテープ(TYPE Ⅰ)を使います。ハイポジションテープやメタルテープは使えません。**

1　録音用のテープを入れる

- ノーマルテープ(TYPE Ⅰ)を使います。
- リーダーテープの部分は巻き取っておきます(➡**63**ページ参照)。
- 途中まで録音した位置で止まっているテープを入れると、その位置から録音されます。

2　リバースモード を押してリバースモードを選ぶ

- ⇄ ：片面のみ録音するとき
- ⇄⊃ ：A面(おもて面)からB面(うら面)へ往復録音するとき

3　録音するソース(音源)を選ぶ

- CDやMDは停止状態にしておきます。

ソース(音源)	操　作
CD	CD ▷/❚❚を押してから ■(停止)を押します。
A MD	A MD ▷/❚❚を押してから ■(停止)を押します。
B MD	B MD ▷/❚❚を押してから ■(停止)を押します。
ラジオ放送	FM/AM/AUXを押してFMまたはAMを選んでから、リモコンの数字ボタンなどで録音したい放送局を選局する。
他の機器の音声(AUX)	FM/AM/AUXを押してAUXを選び、他の機器の演奏を準備する。あらかじめ、他の機器の音声入力レベルを調節することもできます(➡**33**ページ参照)。

大切なお知らせ

CD、A MDまたはB MDを演奏中に本体のTAPE RECを押すと、**1曲録音**になり、演奏中の曲の録音が終了すると自動停止します。
途中の曲から録音したいときは、CD、A MDまたはB MDの停止中に録音を開始する曲を選んでからTAPE RECを押します。

4 TAPE REC ○ **を押す**

録音が始まり、テープ表示が TAPE▌REC（▌REC は点滅）になります。
- ソース（音源）が他の機器の音声のときは、接続した機器の演奏を始めます。
- ソース（音源）がCD、AMDまたはB MDの場合、シンクロ録音機能によりCD、A MDまたはB MDの演奏が自動で始まり、終わるとテープも自動停止します。
- 録音中にCD、A MDまたはB MDの一時停止や早送り/早戻しの操作はできません。

途中で録音をやめる

■（停止）を押します。
- 録音の一時停止はできません。もう一度、操作をやり直してください。

曲の途中でテープのうら面に反転する

ソース（音源）がCD、A MDまたはB MDのとき、録音中に曲の途中でA面（おもて面）からB面（うら面）に反転すると、その曲はもう一度頭からB面（うら面）に録音されます。ただし、A面への録音時間が**12秒以下**のときは、そのひとつ前のトラック（曲）の頭からB面（うら面）に録音されます。

ご注意

- **生演奏などで全体が1曲で録音されているMDをテープに往復録音するときは、あらかじめDIVIDE機能（➡47ページ参照）を使ってテープ片面の長さに合わせて2曲に分けてください。**

▶▶|または|◀◀で曲番号を指定して途中の曲から録音する

CD、A MDまたはB MDの音声を録音するとき、指定した曲番号以降の曲を録音します。
- **手順4**でTAPE RECを押す前に操作してください。

あき（ブランク）を作らずに録音する

CD、A MDまたはB MDを一時停止状態にしてからTAPE RECを押します。

録音済みのテープの音を消す

40ページの**手順3**でソース（音源）に「他の機器の音声（AUX）」を選び、TAPE RECを押します。録音済みのテープの音が消去され、無音テープになります。この場合、接続した機器は演奏しないでください。

表示窓の表示内容を切換える

リモコンの**表示/文字**を押すごとに、「録音中のソース（音源）名とTAPE表示、CD（MD）の曲番号と演奏経過時間、現在時刻」に切換わります。

テープへのプログラム録音は、➡**42**ページ「プログラム録音」をご覧ください。

テープへの1曲録音は、➡**42**ページ「1曲録音」をご覧ください。

プログラム録音／1曲録音

プログラム録音

B MDに録音するときは、CDまたはA MDのプログラム録音ができます。
テープに録音するときは、CD、A MDまたはB MDのプログラム録音ができます。

ソース(音源)が「CD」または「A MD」(または「B MD」)で停止状態のとき

1 リモコンの 再生モード を押して「PROGRAM」を選ぶ

2 数字ボタンを押してプログラムする

- CD ▶/II、A MD ▶/II (またはB MD ▶/II)は押さないでください。

3 B MDに録音するとき

CDをプログラム録音する: MD REC を押す

A MDをプログラム録音する: A▶B MD REC または MD REC を押す

テープに録音するとき

TAPE REC を押す

お知らせ

- CDの音声をプログラム録音するとき、リモコンの**スピード**を押して録音スピードは「X1」(等速)を選んでください。
  「X4」(4倍速)を選んで録音を開始すると「CANNOT REC x1 REC ONLY」と表示され、録音されません。

1曲録音

B MDに録音するときは、CDまたはA MDの1曲録音ができます。
テープに録音するときは、CD、A MDまたはB MDの1曲録音ができます。

CDの曲をB MDに1曲録音するとき

録音したい曲の演奏中(または一時停止中)に MD REC を押す

演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音してから、CDとB MDが自動停止します。

A MDの曲をB MDに1曲録音するとき

録音したい曲の演奏中(または一時停止中)に A▶B MD REC または MD REC を押す

演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音してから、A MDとB MDが自動停止します。

テープに1曲録音するとき

CD、A MDまたはB MDで録音したい曲の演奏中に TAPE REC を押す

演奏中の曲の頭に戻り、その曲だけを録音してから、テープとCD、A MDまたはB MDが自動停止します。

タイトルをつける

リモコンを使って、MD にディスクタイトル、曲タイトル、グループタイトルをつけることができます。
• B MD デッキを使ってリモコンで操作します。

タイトル編集について

- タイトルは、**カタカナ**、**英大文字/英小文字**、**記号**、**数字**を使って**最大61文字まで**つけることができます。

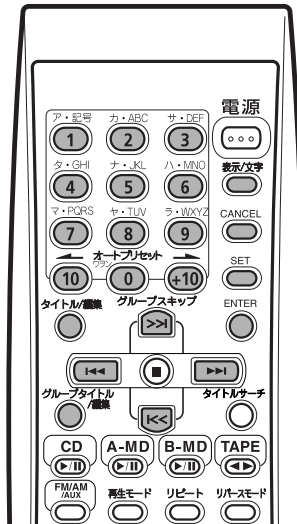
MDに入力できる文字数について

1枚のMDにつき、最大1792文字(英数字･記号)、1曲につき最大61文字のタイトル入力ができます。ただし、MDの記録方式の制約により実際に入力できる文字数は、これより少なくなります。

カタカナは1文字あたりのデータ量が多いため、入力できる文字数が少なくなります。また、スペース(空白)は文字と同じ量のデータを必要とします。

ステレオ長時間録音(LP2またはLP4)したときは、曲タイトルの先頭にLP: とスペース(空白4文字分)が自動的に記録されるため、曲数が多いと入力できる文字数がさらに少なくなります。

例：
- ステレオ長時間録音で120曲を録音したMDでは、全曲に英数字で10文字ずつタイトル入力することができます。
- ステレオ長時間録音で60曲を録音したMDでは、全曲にカタカナで10文字ずつタイトル入力することができます。

- CDの録音中は、16曲分のタイトルを前もって入力できます(**タイトルリザーブ機能**)。
  ただし、録音する曲より多くのタイトルを入力すると、余ったタイトルは取り消されます。
- タイトル入力の操作をしたあとで▲ B MDを押すと、MDが出てくる前に「WRITING」が点滅し、編集した内容がMDに記録されます。
  「WRITING」が点滅している間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中で**タイトル/編集**または**グループタイトル/編集**を押すとタイトル入力はいつでも解除することができます。
- 再生専用MDにタイトルをつけることはできません。タイトルをつけようとすると「PLAYBACK DISC」と表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDにはタイトルをつけることができません。タイトルをつけようとすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- B MDがプログラム演奏またはランダム演奏のモードのとき、**タイトル/編集**または**グループタイトル/編集**を押してもタイトル入力はできません。
- 62文字以上のタイトルは、本機で編集できません。タイトルを入力した機器で編集してください。

1 B MDデッキにMDを入れる

- 誤消去防止つまみを閉じておきます。(➡**62**ページ参照)

2 タイトル/編集 または グループタイトル/編集 を押してタイトル編集モードに切り換える

ディスクタイトル、曲タイトルを編集するとき

タイトル/編集 **を押す**

タイトル編集表示に切換わります。

グループタイトルを編集するとき

グループタイトル/編集 **を2回押す**

グループタイトル編集表示に切換わります。

- グループ分けされていないときは、「FORM GR」表示になります。

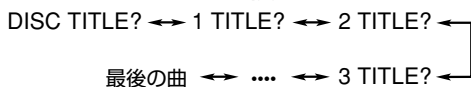
44ページへ続く

タイトルをつける（つづき）

3 数字ボタンの +10（または 10）を押してタイトルをつけるディスク、曲またはグループを選ぶ

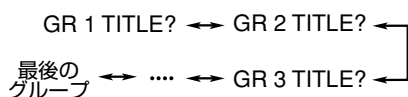
ディスクタイトル、曲タイトルを編集するとき

押すごとに次のように切換わります。

DISC TITLE? ↔ 1 TITLE? ↔ 2 TITLE? ↔ 3 TITLE? ↔ …. ↔ 最後の曲

- ▶▶I(またはI◀◀)でも選ぶことができます。

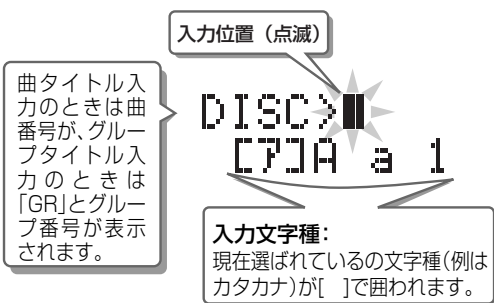
グループタイトルを編集するとき

押すごとに次のように切換わります。

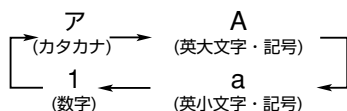
GR 1 TITLE? ↔ GR 2 TITLE? ↔ GR 3 TITLE? ↔ …. ↔ 最後のグループ

- グループは>>I(またはI<<)でも選ぶことができます。

MDの演奏中またはタイトルをつけたい曲で停止中のときは、その曲の曲タイトル、またはその曲が含まれるグループのタイトル編集表示になります。
すでにタイトルが入力されているときは、そのタイトルの修正、追加、削除ができます。

4 SET を押す

タイトル入力表示に切換わります。
- タイトルが入力されているときは、入力位置にタイトルが表示されます。

5 表示/文字 を押して入力文字を変更する

押すごとに次のように文字の種類が切換わります。

ア（カタカナ）→ A（英大文字・記号）→ a（英小文字・記号）→ 1（数字）→ ア（カタカナ）

入力したい文字は**45**ページの「**文字配列表**」で確認してください。

6 タイトルを入力する

数字ボタンを使って、1文字ずつ入力していきます。1つのボタンに複数の文字が割り当てられていますので、文字ごとに、そのボタンをくり返し押して表示させます。

例：「ス」と入力するなら、

1) **表示/文字**を押して、「ア」を[ ]で囲います。これで入力文字が「カタカナ」になります。
2) **数字ボタン「3」**を押すと、入力位置に「サ」と表示されます。
3) **数字ボタン「3」**をくり返し押すと、「**シ➡ス➡セ➡ソ➡サ**…」と順番に表示されます。合計3回押して入力位置に「ス」を表示させます。

手順5と手順6をくり返して好きなタイトルを入力してください。タイトルは61文字までつけられます。

文字の入力位置を移動させるには

+10（または**10**）を押します。右(または左)に1文字分ずつ移動します。入力位置で文字を入力すると新しい文字が入力され、そこにあった文字は右に1文字分移動します。

文字を訂正するときは

訂正したい文字に入力位置を移動させて**CANCEL** を押します。入力位置の文字が消去されます。右側に文字があるときは左に1文字分つまります。

「空白」をつくるには

+10で入力位置を右に移動させるか、文字種を**[A]**または**[a]**にして「記号」からスペース(空白)を選びます。
- 「ウエ」「NO」のように、**同じボタンを使う入力が連続するとき**は、**+10**を押して、文字の入力位置を右に1文字分移動させてから入力します。

途中でタイトル入力をやめるには

タイトル/編集または**グループタイトル/編集**を押します。入力途中のタイトルは変更されません。通常モードに戻ります。

7 ENTER ◯ **を押してタイトルを登録する**

表示窓に「EDITING」が表示され、タイトルが登録されます。

- 次のタイトル編集表示が現われます。SETを押すと、引き続きタイトル入力を行うこともできます。演奏中は次の曲または次のグループの演奏になります。
- 演奏中は、ENTERを押すまで最後の曲またはグループがくり返し演奏されます。

8 CANCEL ⬭ **を押してタイトル入力を終了する**

通常のモードに戻ります。

- **タイトル/編集**または**グループタイトル/編集**をくり返し押して、通常のモードに戻すこともできます。

9 **編集内容をMDに記録する**

- **本体の▲ B MDを押してMDを取り出します。** MDが出てくる前に「WRITING」表示が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

タイトル入力に使える文字・記号と数字

● **文字配列表**

ボタン	カタカナ	英大文字	英小文字	数字
ア・記号 1	アイウエオァィゥェォ	記号*	記号*	1
カ・ABC 2	カキクケコ	ABC	abc	2
サ・DEF 3	サシスセソ	DEF	def	3
タ・GHI 4	タチツテトッ	GHI	ghi	4
ナ・JKL 5	ナニヌネノ	JKL	jkl	5
ハ・MNO 6	ハヒフヘホ	MNO	mno	6
マ・PQRS 7	マミムメモ	PQRS	pqrs	7
ヤ・TUV 8	ヤユヨャュョ	TUV	tuv	8
ラ・WXYZ 9	ラリルレロ	WXYZ	wxyz	9
ワヲン 0	ワヲン ゛ー ゜			0

＊「記号」で表示できる内容

□スペース(空白)	!	”	#	$	%	&	’	(	)	＊	＋
,	ー	.	／	:	;	<	＝	>	?	@	＿	`

- 「゛」や「゜」は、濁音や半濁音になる文字以外には入力することができません。

録音中のタイトル入力について

- **タイトル/編集**を押したときの曲、または**タイトル/編集**を押してから＋10（または 10）で選んだ曲にタイトルをつけます。
  グループタイトル/編集を押したときのグループにタイトルをつけます。
- CDの録音中（1曲録音は除く）は、16曲分まで録音中にタイトルを先行して入力することができます（**タイトルリザーブ機能**）。
- 録音が終了するまでにENTERが押されなかったときは、その曲のタイトルは無効になります。

曲を編集する

曲(トラック)編集とは

- MDの編集には「曲を分ける」、「曲をつなげる」、「曲を移動する」、「曲を削除する」、「全曲を削除する」があり、機能を組み合わせて使うこともできます。
- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると「PLAYBACK DISC」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- B MDがプログラム演奏中、ランダム演奏中またはグループ演奏中のときは、**タイトル/編集**を押しても編集のモードになりません。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。
「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。
- 操作の途中でCANCELまたは**タイトル/編集**を押すと、編集操作を中止することができます。

タイトル/編集を押すごとに、「DISC TITLE？」に続いて「FORM GR」(➡**51**ページ参照)と次の5つの機能が呼び出されます。

• 停止中または再生中に、B MDデッキを使ってリモコンで操作します。

曲を分ける (DIVIDE)

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けます。

曲をつなげる (JOIN)

トラックマークを削除して、1つ前の曲と1つにまとめます。

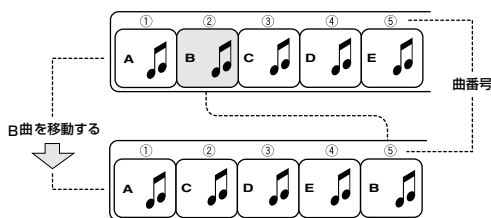
曲を移動する (MOVE)

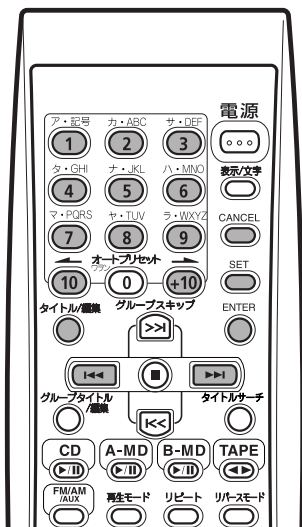
好きな順番に曲を入れ換えます。

曲を削除する (ERASE)

不要な曲やナレーションなど、削除したい曲を一度に15曲まで指定して削除することができます。曲番号があらたにふり直されます。

全曲を削除する (ALL ERASE)

全部の曲をすべて消去して、ブランクディスクにします。

お知らせ

- **トラックマークとは**
曲ごとの頭の部分に頭出しのためについているマークのことです。トラックマークとトラックマークの間が曲としてみなされ、再生順に番号表示されます。これが曲番号(**トラックナンバー**)です。

曲を分ける(DIVIDE)

曲の途中や頭出しの必要なところにトラックマークを追加して曲を分けることができます。
メドレーやFM放送などを録音したあとに曲番号を割り当てることができます。分けた曲以降の曲番号は自動的にふえます。
編集するMDをB MDデッキに挿入しておきます。

1 タイトル/編集 **をくり返し押して「DIVIDE?」を選ぶ**

```
DIVIDE ?
YES?→SET
```

2 SET **を押す**

MDが停止中のときは、1曲目の再生が始まります。
再生中のときは、再生が継続します。

3 ▶▶I **(または** I◀◀ **)を押して編集したい曲を選ぶ**

- 数字ボタン(1〜10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- 再生中に ▶▶I を押し続けると、早送りできます。分けたいところを探すときに便利です。

4 **曲を分けたいところで** SET **を押す**

押したところから3秒間がくり返し再生されます。

```
POSIT.    0
OK?→SET
```

- 希望どおりに分けられたときは、**手順6**に進みます。
- 分けたいところをやり直すときは、**CANCEL**を押します。
- 曲の頭やナレーションなどに食い込んでいるときは、**手順5**へ進みます。分ける場所が微調節できます。

5 ▶▶I **(または** I◀◀ **)を押して微調節する**

±128ポジション(SP:標準モードで約±8秒)の範囲で分けるところが調節できます。
トラックマークが少しずつ移動し、移動したところから4秒後までがくり返し再生されます。

- 分けたいところをやり直すときは、**CANCEL**を押します。

6 SET **を押す**

- 途中でやめるときは、**タイトル/編集**を押します。

7 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

「曲をつなげる（JOIN)」（➡**48** ページ参照）の操作をします。

曲を分けることができないMD

254曲録音してあるMDなどは、**手順4**で**SET**を押すと「**DISC FULL**」が表示されます。

曲をつなげる(JOIN)

不要なトラックマークを取り除いて、連続する２曲を１曲にまとめることができます。
JOINをすると曲番号はつけ直されます。
編集するＭＤをＢ MDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 タイトル/編集 **をくり返し押して「JOIN?」を選ぶ**

JOIN ?
YES?→SET

2 SET **を押す**

3 ⏭ **(または ⏮)を押してつなぎたい2つの曲を選ぶ**

1+ 2 ?
OK?→SET

表示は「1+2？」「2+3？」のように次々と変わっていきます。
- 数字ボタン(1〜10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。

4 SET **を押す**

- つなげる曲を選び直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、**タイトル/編集**を押します。

5 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

「曲を分ける(DIVIDE)」(➡**47** ページ参照)の操作をします。

つなげることができない曲またはMD

- 録音モード(SP/LP2/LP4)の異なる曲をつなげることはできません。つなげようとすると「CANNOT JOIN」が表示されます。
- 1曲しか録音されていないMDなどは、曲をつなげることができません。

曲を移動する(MOVE)

1つの曲を指定したところへ移動させせます。
編集するＭＤをB MDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 タイトル/編集 **をくり返し押して「MOVE?」を選ぶ**

MOVE ?
YES?→SET

2 SET **を押す**

3 ⏭ **(または ⏮)を押して移動したい曲番号を選び、** SET **を押す**

表示は「 ← 2？」「 ← 3？」のように変わります。
- 数字ボタン(1〜10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- 曲番号を選び直すときは、CANCELを押します。

4 ⏭ **(または ⏮)を押して移動先の曲番号を選び、** SET **を押す**

7← 2 ?
OK?→SET

- 数字ボタン(1〜10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- 移動先の曲がグループ登録されているときは、移動後そのグループに登録されます。また、移動先の曲がグループ登録されていないときは、移動後にグループ登録からはずれます。
- 移動先番号を選び直すときは、CANCELを押します。**手順3**に戻ります。
- 途中でやめるときは、**タイトル/編集**を押します。

5 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

曲の移動ができないMD

1曲しか録音されていないMDなどは、曲の移動ができません。

曲を削除する(ERASE)

指定した曲を削除します。最大15曲まで1回の操作で削除することができます。
曲番号は付け直されます。
編集するMDをB MDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 **をくり返し押して「ERASE?」を選ぶ**

```
ERASE?
YES?→SET
```

2 **を押す**

```
1 ERASE?
ERASE?→SET
```

3 [▶▶I] **(または** [I◀◀] **)を押して消したい曲番号を選ぶ**

表示窓に消したい曲の曲番号が表示されます。
- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。

4 SET **を押す**

曲番号の前に「✓」がつきます。「✓」のついている曲が消えます。
- 間違えたときは、CANCELを押して「✓」を消します。
- **手順3**と**手順4**をくり返すと15曲まで選ぶことができます。
16曲目は選ぶことができません。

5 **を押す**

- やりなおすときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、**タイトル/編集**を押します。

6 **を押す**

指定した曲が削除されます。
「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

全曲を削除する(ALL ERASE)

MDに録音されている曲をすべて消去してブランクディスクにします。
編集するMDをB MDデッキに挿入し、停止状態にしておきます。

1 タイトル/編集 **をくり返し押して「ALL ERASE?」を選ぶ**

```
ALL ERASE?
YES?→SET
```

2 SET **を押す**

- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

3 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、その後、「BLANK DISC」と表示されます。

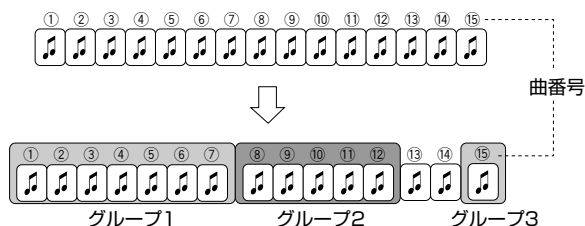
ご注意

- **一度消去した曲は、もどすことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開いた状態にしておいてください（➡62ページ参照）。**

MDをグループ編集する

本機にはMDの新しい機能、グループ機能があります。ここでは、グループとその編集について説明します。

MDのグループ機能とは

ステレオ長時間録音(**MDLP**)によって1枚のMDに、今までよりも多くの曲(トラック)が録音できるようになりました。
MDのグループ機能は、曲(トラック)を最大99のグループに分けて登録することで、管理をより便利にするためのものです。

グループは、1曲(トラック)でも設定できます。また、連続する曲(トラック)をグループとして登録することができます。
MDのグループ機能には、次のものがあります。

- **グループ演奏**　：1つのグループの曲(トラック)だけを演奏します(➡**29**ページ参照)。
  リピート演奏もできます。
- **グループ録音**　：録音と同時に、複数の曲(トラック)をまとめて1つのグループとして登録できます(➡**34**ページ参照)。
- **グループタイトル**：ディスクや曲(トラック)と同じように、グループにもタイトルをつけたり編集したりすることができます(➡**43**ページ参照)。
- **グループ編集**　：右の項目をご覧ください。

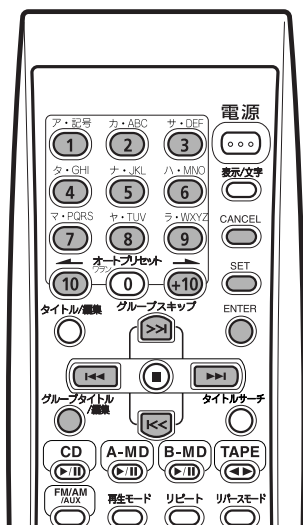
MDのグループ編集

MDのグループ編集には次の8つの機能があります。これらの機能は、**グループタイトル/編集**を押すごとに、「GR 1 TITLE?」に続いて呼び出されます。

これらの機能を組み合わせて使うこともできます。

- **「グループをつくる(FORM GR)」:**
  グループに属していない曲(トラック)から新しいグループを作ります。左の図で、13曲目と14曲目から4つめのグループを作ることです(➡**51**ページ参照)。
- **「グループに登録する(ENTRY GR)」:**
  曲をすでにあるグループに登録します。左の図で、13曲目をグループ2に登録することです(➡**52**ページ参照)。
- **「グループを分ける(DIVIDE GR)」:**
  1つのグループを2つに分けます。左の図で、グループ1を2つに分けてグループ総数を4にすることです(➡**52**ページ参照)。
- **「グループをつなげる(JOIN GR)」:**
  2つのグループをまとめて1つにします。左の図で、グループ1とグループ2を1つのグループにまとめることです(➡**53**ページ参照)。
- **「グループを移動する(MOVE GR)」:**
  グループの移動をします。左の図で、グループ2をグループ1の前に移動させることです(➡**53**ページ参照)。
- **「グループを解消する(UNGROUP)」:**
  1つのグループを解消します。曲(トラック)の削除はしません(➡**54**ページ参照)。
- **「全グループを解消する(UNGR ALL)」:**
  すべてのグループを解消して、グループのない状態にします。曲(トラック)の削除はしません(➡**54**ページ参照)。
- **「グループを削除する(ERASE GR)」:**
  グループと共にグループ内のすべての曲(トラック)を削除します。左の図で、グループ2を削除すると、8曲目から12曲目までが削除されます(➡**54**ページ参照)。
- **「全曲を消す(ALL ERASE)」:**
  グループと曲のすべてが消せます(➡**49**ページ参照)。

お知らせ

- 再生専用MDは編集することができません。編集の操作をすると「PLAYBACK DISC」が表示されます。
- 誤消去防止状態になっているMDは編集することができません。編集の操作をすると「DISC PROTECTED」が表示されます。
- B MDがプログラム演奏中、ランダム演奏中またはグループ演奏中のときに、**グループタイトル/編集**を押しても編集モードになりません。
- 編集操作が終了すると「EDITING」が表示されたあとに「WRITING」が点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。「WRITING」が点滅表示されている間は、振動を与えないように注意してください。演奏できなくなるおそれがあります。

グループをつくる(FORM GR)

どのグループにも登録されていない連続した曲から新しいグループをつくります。1曲でもグループにすることができます。

編集するMDをB MDデッキに挿入します。

1 グループタイトル/編集 ◯ または タイトル/編集 ◯ **をくり返し押して「FORM GR?」を選ぶ**

FORM GR ?
YES?→SET

2 SET ⬭ **を押す**

3 ⏭ **(または** ⏮ **)を押して新しいグループの先頭の曲を選び、** SET ⬭ **を押す**

- 演奏中は、選んだ番号の曲がくり返し再生されます。
- 数字ボタン(1〜10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- 他のグループに属している曲を選んだときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。

4 ⏭ **(または** ⏮ **)を押して新しいグループの最後の曲を選び、** SET ⬭ **を押す**

最後の曲

T 13 →T 14?
OK?→SET

- 演奏中は、選んだ番号の曲がくり返し演奏されます。
- 他のグループに属している曲を選んだときは、「GROUP TRACK」と表示され、次の手順に進めません。
- 先頭の曲から最後の曲の間に他のグループがあるときは「CANNOT FORM!」と表示され、次の手順に進めません。
- やり直すときは、**CANCEL**を押します。**手順3**に戻ります。
- 途中でやめるときは、**グループタイトル/編集**を押します。

5 ENTER ◯ **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

「グループを解消する」(➡**54**ページ参照)の操作をします。

MDをグループ編集する（つづき）

グループに登録する(ENTRY GR)

曲を１つ選び、指定したグループの最後の曲として登録します。**登録したいグループにすでに登録されている曲は、登録できません。**
編集するMDをＢ MDデッキに挿入します。

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「ENTRY GR?」を選ぶ**

ENTRY GR ?
YES?→SET

2 SET **を押す**

3 ⏭（または ⏮）**を押してグループに登録する曲を選び、**SET **を押す**

TR. 13?
OK?→SET

- 演奏中は、選んだ番号の曲がくり返し再生されます。
- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。

4 >>I（または I<<）**を押して登録先のグループを選び、**SET **を押す**

選んだグループ番号が点滅表示されます。

- 演奏中は、選ばれた番号の曲がくり返し再生されます。
- やり直すときは、CANCELを押します。**手順3**に戻ります。
- 途中でやめるときは、**グループタイトル/編集**を押します。

5 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

- 登録ができないときは、「CANNOT ENTRY!」と表示され、**手順4**に戻ります。

もとに戻すときは

右の「グループを分ける（DIVIDE GR）」のあと「指定したグループを解消する（UNGROUP）（➡**54**ページ参照）の操作をします。

グループを分ける(DIVIDE GR)

１つのグループを２つに分けます。新しくできる２つのグループのうち、後ろのグループの先頭の曲を指定します。グループ番号は付け直されます。
編集するMDをＢ MDデッキに挿入します。

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「DIVIDE GR?」を選ぶ**

DIVIDE GR?
YES?→SET

2 SET **を押す**

3 >>I（または I<<）**を押して分けるグループを選ぶ**

4 ⏭（または ⏮）**を押してどの曲から分けるかを選び、**SET **を押す**

- 演奏中は、選ばれた番号の曲がくり返し再生されます。
- 数字ボタン(1～10、+10)を押して、曲番号を直接選ぶこともできます。
- グループの先頭の曲やグループに登録されていない曲を選んだときは、次の手順に進めません。
- やり直すときは、CANCELを押します。**手順3**に戻ります。
- 途中でやめるときは、**グループタイトル/編集**を押します。

5 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

「グループをつなげる（JOIN GR）」（➡**53**ページ参照）の操作をします。

グループをつなげる(JOIN GR)

となりあう2つのグループを1つのグループにします。タイトルがついているときは、番号が小さい方のグループタイトルが残ります。グループ番号は付け直されます。
編集するMDをB MDデッキに挿入します。

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「JOIN GR?」を選ぶ**

```
JOIN GR ?
YES?→SET
```

2 SET **を押す**

3 >>I **(または** I<< **)を押してつなげるグループの組を選び、** SET **を押す**

```
G  1→G  2?
OK?→SET
```

連続するグループ番号が、表示されます。グループがないときは「--」と表示されます。
- 2つのグループの間に、グループに登録されていない曲があると、つなげることはできません。
- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、グループタイトル/編集を押します。

4 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。
- グループの間に曲があったり、「--」と表示されたままENTERを押すと、「CANNOT JOIN」と表示され、手順3に戻ります。

もとに戻すときは

「グループを分ける(DIVIDE GR)」(➡52ページ参照)の操作をします。

グループを移動する(MOVE GR)

1つのグループを指定したところへ移動させます。グループ番号は付け直されます。
編集するMDをB MDデッキに挿入します。

1 グループタイトル/編集 **をくり返し押して「MOVE GR?」を選ぶ**

```
MOVE GR ?
YES?→SET
```

2 SET **を押す**

3 >>I **(または** I<< **)を押して移動させるグループを選び、** SET **を押す**

例:グループ2のとき

```
G   ←G  2?
OK?→SET
```

4 >>I **(または** I<< **)を押して移動先を選び、** SET **を押す**

例:グループ2をグループ1の前に移動させます。

```
G  1←G  2?
OK?→SET
```

- やり直すときは、CANCELを押します。
- 途中でやめるときは、グループタイトル/編集を押します。

5 ENTER **を押す**

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

もう一度「グループを移動する(MOVE GR)」の操作をします。

MDをグループ編集する（つづき）

グループを解消する(UNGROUP/UNGR ALL)

指定したグループまたは全グループを解消して、曲のグループ登録をやめます。解消されたグループ内の曲は削除されません。グループ番号は、付け直されます。
編集するMDをB MDデッキに挿入します。

指定したグループを解消する(UNGROUP)

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「UNGROUP?」を選ぶ

UNGROUP ?
YES?→SET

2 SET を押す

3 >>I（または I<<）を押して解消するグループを選び、SET を押す

- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

4 ENTER を押す

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

全グループを解消する(UNGR ALL)

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「UNGR ALL?」を選ぶ

UNGR ALL ?
YES?→SET

2 SET を押す

- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

3 ENTER を押す

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

もとに戻すときは

「グループをつくる(FORM GR)」(➡**51**ページ参照)の操作をします。

グループを削除する(ERASE GR)

グループをMDから削除します。削除されたグループ内の曲も同時に削除されます。グループ番号と曲番号は、付け直されます。
編集するMDをB MDデッキに挿入します。

1 グループタイトル/編集 をくり返し押して「ERASE GR?」を選ぶ

ERASE GR ?
YES?→SET

2 SET を押す

3 >>I（または I<<）を押して削除するグループを選び、SET を押す

G 2 ERASE?
ERASE?→SET

- 途中でやめるときは、CANCELを押します。

4 ENTER を押す

「EDITING」→「WRITING」と点滅表示され、編集した内容がMDに記録されます。

ご注意

- 一度削除した曲は、もどすことができません。大切な録音の入ったMDは、誤消去防止つまみを開いた状態にしておいてください(➡**62**ページ参照)。

タイマーを使う

本機では、おやすみタイマーと3つのプログラムタイマーを使うことができます。

タイマー操作をする前に

タイマーの設定をする前に必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください(➡15ページ参照)。

- 時計合わせをしていないと、タイマーは働きません。

おやすみタイマー

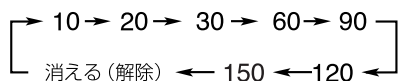
音楽やラジオ放送を聞きながら眠りたいときに使います。
電源を「切」にするまでの時間を設定し、おやすみください。設定した時間が経過すると自動的に電源が「切」になります。

- **リモコンで操作します。**

1 スリープ **を押す**

表示窓の⏻とSLEEP表示が点滅し「SLEEP 10」と表示されます。

- 押すごとに、スリープ時間は次のように選べます。

→ 10 → 20 → 30 → 60 → 90 → 120 → 150 → 消える（解除）→

- およそ5秒間ボタンを押さないでいると、自動的に設定されます。表示窓がソース（音源）の表示に戻り、⏻とSLEEP表示が点灯になります。
- おやすみタイマーを設定すると、オートディマー機能が働いて表示窓が暗くなります。

設定したスリープ時間を変更する

- おやすみタイマー設定後に**スリープ**を1回押すと、電源が**「切」**になるまでの**残り時間**が表示されます。
- 設定を変更するときは、**スリープ**をくり返し押して希望のスリープ時間を選びます。

おやすみタイマーを取り消す

- スリープ時間の表示が消えるまで、**スリープ**をくり返し押します。おやすみタイマーが解除されます。
- 電源を「**切**」にしたときも、おやすみタイマーは解除されます。

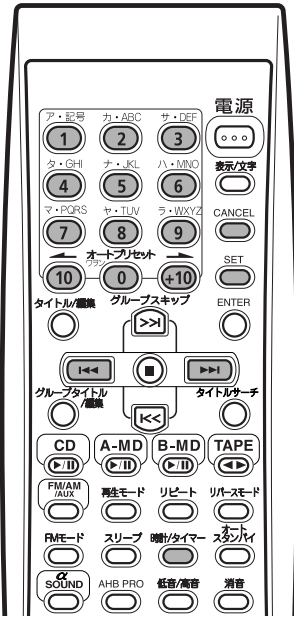
おやすみタイマーでおやすみになり、プログラムタイマーで目覚めるには

1. プログラムタイマーでタイマー再生（PLAY TIMER）を設定する（➡**56**〜**59**ページ参照）
2. 聞きたいソースを演奏する
3. **スリープ**を押してスリープ時間を設定する
   - 設定した時間が経過すると自動的に電源が「**切**」になり、プログラムタイマーの開始時刻で電源が「**入**」になります。

タイマーを使う（つづき）

プログラムタイマー

TIMER 1、TIMER 2またはIMER 3に「タイマー再生」または「タイマー録音」の設定ができます。
異なる時間帯に複数のプログラムタイマーを動作させることができます。
タイマー再生が動作を始めるとき、音量は徐々に大きくなります（ウェイクアップボリューム機能）。

- **プログラムタイマーの設定をする前に、必ず本機の時計を現在時刻に正しく合わせておいてください（➡15ページ参照）。**

ご注意

- **他の機器を接続して演奏するときは、タイマー機能のついた機器をご使用ください。**
- **電源「入」の状態では、プログラムタイマーが動作しません。**

お知らせ

- ラジオをソース（音源）に選ぶときは、あらかじめ放送局をプリセットしておく必要があります（➡**19**ページ「放送局を記憶させる（プリセット）」参照）。
- プログラムタイマーに設定した内容は、あらためて設定し直さない限り同じ内容が記憶されています。
- CDやMDのプログラム演奏、ランダム演奏、グループ演奏はできません。
- 電源コードを外したり停電などで電源が切れたときは、プログラムタイマーの設定が解除されることがあります。設定内容が消えてしまったときは、時計とプログラムタイマーをもう一度設定し直してください。

1 録音または再生するソース（音源）の準備をする

タイマー録音するとき

MD に録音する	B MD デッキに録音用 MD を入れる
テープに録音する	カセットホルダーに録音用テープを入れる

タイマー再生するとき

CD を聞く	CD を入れる（➡**22** ページ）
MDを聞く	A MDまたはB MDデッキにMDを入れる（➡**23**ページ）
ラジオを聞く	放送局をプリセットしておく（➡**19** ページ）
テープを聞く	テープを入れる（➡**31** ページ）
他の機器の音声を聞く	他の機器のタイマー設定をする（➡**33** ページ）

2 時計/タイマー を押して「TIMER1」、「TIMER2」または「TIMER3」のいずれかを選び、SET を押す

例：TIMER 1のとき

3 ⏭ (または ⏮)と SET を使って、タイマーの開始時刻と終了時刻を設定する

・ 時刻の設定方法は、**15**ページ「時計を合わせる」を参照してください(数字ボタンも使えます)。

開始時刻の設定

「時」の設定 ➡ SET ➡ 「分」の設定 ➡ SET

終了時刻の設定

「時」の設定 ➡ SET ➡ 「分」の設定 ➡ SET

4 ⏭ (または ⏮)を押して「ONCE」または「EVERYDAY」を選んでから SET を押す

ONCE(ワンス) : タイマーが1回動作すると解除されます。タイマーが解除されても設定内容は残ります。

↕

EVERYDAY(エブリデイ) : タイマーを解除するまで毎日動作します。

5 ⏭ (または ⏮)を押して「REC TIMER」または「PLAY TIMER」を選んでから SET を押す

REC TIMER : タイマー録音するとき選びます。

↕

PLAY TIMER : タイマー再生するとき選びます。

REC TIMER を選んだときは、**右上の手順 6** へ進みます。

PLAY TIMER を選んだときは、**58 ページ右側の手順 6** へ進みます。

REC TIMER（タイマー録音）の設定

6 ⏭ (または ⏮)を押して録音するソース(音源)と録音先(B MDまたはテープ)の組み合わせを選んでから、SET を押す

ボタンを押すごとに次のように切換わります。

録音するソース(音源)にFMまたはAMを選んだとき

⏭ または ⏮ を押して録音する放送局のプリセット番号を選んでから**SET**を押します。数字ボタン(1〜10、+10)でもプリセット番号が選べます。

- **録音先が**B MDとき、**手順7**へ進みます。
- **録音先が**TAPEのとき、**手順6**でSETを押すとREC TIMER(**タイマー録音**)**の設定が終了**です。表示窓に設定内容が一通り表示されます。確認してから、**手順8**へ進みます。

録音するソース(音源)にAUXを選んだとき

- **録音先が**B MDときは、**手順7**へ進みます。
- **録音先が**TAPEのときは、**手順6**でSETを押すとREC TIMER(**タイマー録音**)**の設定が終了**です。表示窓に設定内容が一通り表示されます。確認してから、**手順8**へ進みます。

58ページの左側へ続く

プログラムタイマー（つづき）

REC TIMER（タイマー録音）の設定

7 ▶▶I（または I◀◀）を押してB MDの録音モードを選んでから、SET を押す

ボタンを押すごとに次のように切換わります。

SP ➡ LP2 ➡ LP4
（標準）（2倍長）（4倍長）

SETを押すとREC TIMER（タイマー録音）の**設定が終了**です。表示窓に設定内容が一通り表示されます。

電源「入」でプログラムタイマーの設定をしているとき

8 電源 を押して電源を「切」にする

表示窓に ⏻ とプログラムタイマー番号、REC表示が点灯していることを確認してください。

- タイマーの開始時刻になるとタイマー録音がスタートし、終了時刻になると電源が自動的に「**切**」になります。
- タイマー録音中は、スピーカーから音は出ません。
- **57**ページ**手順4**で「ONCE」に設定したタイマーの場合は、タイマー動作が終了すると、表示窓のプログラムタイマー番号が消灯します。

MDのグループ録音の設定について

プログラムタイマーでB MDに録音するとき、グループ録音の設定は、プログラムタイマーを設定する前または設定が終了してから行います。プログラムタイマー設定中は、**グループ**を押しても設定を変えることはできません。
電源「切」でプログラムタイマーを設定したあと、グループ録音の設定を変更するときは、電源を「入」にしてから**グループ**を押してください。

ラジオ/AUXのトラックマークのつけかたについて

プログラムタイマーでB MDにラジオまたはAUXを録音するときは、トラックマークのつけかたが選べます。
電源「**入**」のとき、プログラムタイマーを設定する前または設定が終了してから行います。設定のしかたは、**39**ページの**手順3**をご覧ください。

PLAY TIMER（タイマー再生）の設定

6 ▶▶I（または I◀◀）を押して再生するソース（音源）を選んでから、SET を押す

ボタンを押すごとに次のように切換わります。

FM ⟷ AM ⟷ CD ⟷ AMD
↕　　　　　　　　　　↕
AUX ⟷ TAPE ⟷ BMD

FMまたはAMを選んだとき
▶▶I または I◀◀ を押して聞きたい放送局のプリセット番号を選んでから**SET**を押します。
数字ボタン（1〜10、＋10）でもプリセット番号が選べます。

CD、AMD、BMDを選んだとき

CDまたはMDの頭から演奏したいとき*
　SETを押し、**手順7**へ進む

* 前の設定が残っているときは、先に数字ボタンの「**1**」を押します。

演奏する曲を指定するとき
　▶▶I または I◀◀ を押して曲番号を選んでから**SET**を押して、**手順7**へ進む
　数字ボタン（1〜10、＋10）でも曲が選べます。

TAPE、AUXを選んだとき
SETを押し、**手順7**へ進む

7 ▶▶I（または I◀◀）を押して再生する音量を調節してから、SET を押す

0〜40の範囲で調節できます。

- **音量＋、−**を押しても音量の調節ができます。

SETを押すとPLAY TIMER（タイマー再生）**の設定が終了**です。表示窓に設定内容が一通り表示されます。

電源「入」でプログラムタイマーの設定をしているとき

8 電源 (○○○) **を押して電源を「切」にする**

表示窓に ⏻ とプログラムタイマー番号が点灯していることを確認してください。

- タイマーの開始時刻になるとタイマー再生がスタートし、終了時刻になると電源が自動的に「**切**」になります。
- **57**ページ**手順4**で「ONCE」に設定したタイマーの場合は、タイマー動作が終了すると、表示窓のプログラムタイマー番号が消灯します。

プログラムタイマーの解除と再設定について

プログラムタイマーの解除

57 ページの**手順４**で 「EVERYDAY」 に設定したタイマーを一時的に解除するには、**56**ページの**手順2で**解除するタイマーを選び、SETを押さないでCANCELを押します。表示窓の⏻ とプログラムタイマー番号が消灯します。
タイマーは解除されても、設定内容は残ります。

プログラムタイマーの再設定

57ページの**手順4**で「ONCE」に設定して動作が終了したタイマー、上記「**プログラムタイマーの解除**」の操作をして一時的に解除されているタイマーを再設定することができます。
56ページの**手順2**で再設定するタイマーを選び、SETをくり返し押します。設定が終了し表示窓に設定内容が一通り表示されます。
表示窓に ⏻ とプログラムタイマー番号、（REC TIMERのときはREC表示）が点灯していることを確認してください。電源を「切」にしておくと、設定した開始時刻でタイマーがスタートします。

オートスタンバイ機能を使う

本機には、ラジオ以外のソース（音源）のとき無音状態が3分以上続くと、自動的に電源が「切」になるオートスタンバイ機能があります。

オートスタンバイ を押す

表示窓に「A. STANDBY SET」が数秒間表示され、A. STANDBY 表示が点灯します。

オートスタンバイを設定すると

オートスタンバイ機能が動作すると、表示窓のA. STANDBY表示が点滅に変わります。

オートスタンバイの動作

CD、A MD、B MDまたはテープを演奏しているとき:

録音しているとき:

演奏または録音が終了すると、オートスタンバイ機能が動作し、何の操作もせずに3分が経過すると自動的に電源が「切」になります。

3分以内に演奏または録音の操作をしたときは、演奏または録音が終了してから再度オートスタンバイ機能が動作します。

演奏または録音以外の操作をしたときは、最後の操作が行われてから何の操作もせずに3分間が経過すると、自動的に電源が「切」になります。

他の機器の音声を聞いているとき:

無音状態になるとオートスタンバイ機能が動作し、何の操作もせずに3分が経過すると自動的に電源が「切」になります。

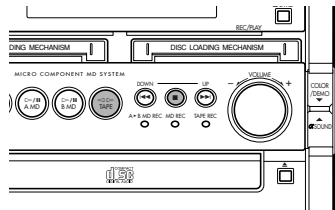
電源が「切」になる20秒前になると表示窓の情報表示部に「A. STANDBY OFF」と点滅表示されます。

オートスタンバイを解除する

オートスタンバイをもう一度押します。

表示窓に「A. STANDBY CANCEL」と数秒間表示され、A. STANDBY表示が消灯します。

チャイルドロック機能

A MDとB MD挿入口、CDトレイを電子ロックして▲を押してもMDが出てこないようにしたり、CDトレイが出てこないようにします。本体のみで操作します。小さなお子様のいたずら防止などに便利です。

1 電源を「切」にする

電源が「入」のままでは設定できません。

2 ■ を押したまま TAPE を押す

「LOCKED」と表示され、**A MD挿入口とB MD挿入口、CDトレイがロックされます。**

LOCKED

- チャイルドロックすると、AMD、BMDまたはCDトレイのいずれの ▲ を押しても「LOCKED」と表示され、MDまたはCDトレイは出てきません。
- 電源「切」のときに▲を押すと「LOCKED」と表示されます。電源は「切」のままです。

チャイルドロックを解除する

もう一度、**手順1**と**2**の操作をします。

「UNLOCKED」と表示され、チャイルドロックが解除されます。

UNLOCKED

MDの制約について

MDは、従来のカセットテープや DAT とは異なる独自の方式で情報を記録しています。このMDの記録方式にはいくつかの制約があるため、次のような症状になることがあります。これらは製品の故障ではありませんので、ご了承ください。

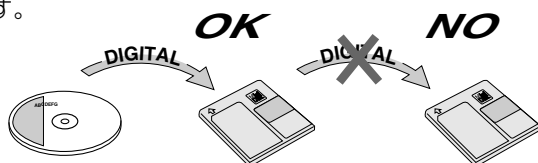
症　状	原　因
MDに示された収録可能時間を使い切っていないのに「DISC FULL」が表示される。	MDは時間に関係なく、録音できる曲数(トラック数)に制限があります。曲(トラック)番号が255以上になる録音はできません。（ 録音可能な最大トラック数は254曲まで）
曲番号にも収録可能時間にも余裕があるのに「DISC FULL」が表示される。	部分的に消して録音し直す操作をくり返すと、ディスクのあちらこちらに空き部分ができます。このような録音をしたMDには、1曲のデータが空き部分に細かく分けて記録されます。録音中、分けられた部分が多くなると「DISC FULL」が表示されることがあります。 分けられて8秒以下（SP：標準モード時）の部分ができると、その曲は、「JOIN」でつなげることはできません。 また、その部分は消しても残り時間は増えません。 細かく分けて記録されている曲は、早送りや早戻しすると音が途切れることがあります。 また、MDLP規格による録音モードが異なる曲は、「JOIN」でつなげることができません。
「JOIN」機能が使えない。	
曲を消しても残り時間が増えない。	
早送り、早戻しをすると、音が途切れることがある。	
録音した時間と残り時間を足しても、MDに表示された収録可能時間にならない。	MDは、最低でも12秒間(SP：標準モード時)の連続したスペースがないと録音できません。そのため、短い空き部分のたくさんできたMDは、実際に録音できる時間は、短くなります。

MDは、CDのクリアな音をデジタル録音することができます。ただし、こうして録音されたMDを他のMDに再びデジタル信号のまま他の機器でコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」をつくることはできません。この決まりをSCMS(シリアル･コピー･マネージメント･システム)といいます。
本機は、この決まりに準拠して設計されています。

SCMS (Serial Copy Management System)

シリアル･コピー･マネージメント･システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは１世代だけと規定したものです。

あなたがラジオ放送やCD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先：
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎ 03−5353−0336(代)

ご注意
この規定により、一度デジタル録音されたMDからは、他の機器へデジタル録音することはできません。

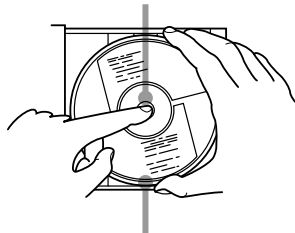
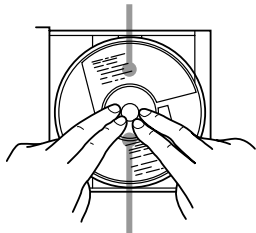
倍速録音に関して（HCMS）

録音用MD(ミニディスク)は等速を超えるスピードで録音(コピー)することが可能です。このため著作権を保護するための規制が必要になります。
本機では、CDまたはMDから一度倍速録音（等速を超える録音）した曲は、その曲の録音開始から74分が経過しないと、その曲（MDの場合は、そのMD全曲）の二度目の録音はできません。
例えば、CDの1曲目を倍速録音した場合、倍速録音が開始してから74分間は、そのCDの1曲目を再びMDに倍速で録音することはできません。また、CDから倍速録音をする場合、録音開始から74分以内に合計で101曲以上録音することはできません。100曲までの録音ができます。

CD、MD、テープの取り扱いについて

CDの取り扱いかた

・ケースからの出し入れ

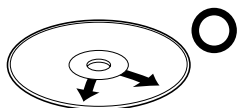
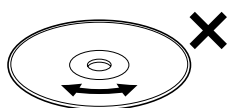
① センターホルダーを押さえ

① 文字のある面を上にして…

②演奏面(虹色に光っている面)に触れないように持って出す。

② 上から押さえて入れる。

- CDにテープやシールなどを張ったり、字を書いたりしないでください。
- CDは曲げないでください。

- ハートや花などの形をしたシェイプCD(特殊形状のCD)は、絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

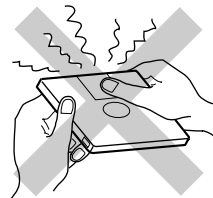
CDのお手入れ

再生する前に、再生面についたほこりやゴミ、指紋などを柔らかい布でふきとってください。
必ず内側から外側にふいてください。

必ず内側から外側へ

連続したキズは音飛びの原因となります。

- シンナーやベンジン、アナログレコード用のクリーナーなどは絶対に使用しないでください。

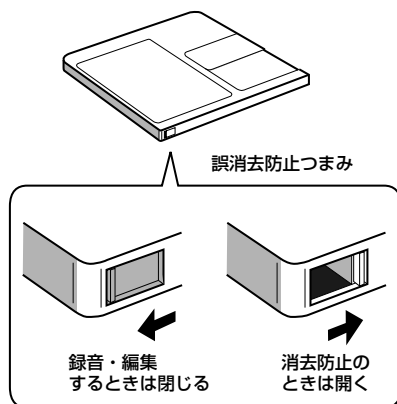
MDの取り扱いかた

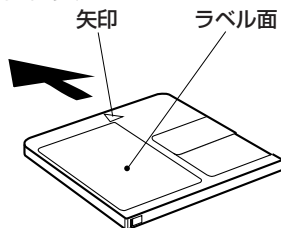
シャッターは開けないで

シャッターは開かないようにロックされています。
無理に開けようとするとディスクがこわれます。

定期的にお手入れを

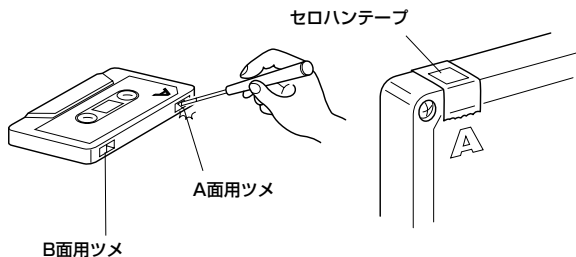
MDにほこりやゴミがついたときは、乾いたやわらかい布でふき取ってください。

大切な録音を消さないために

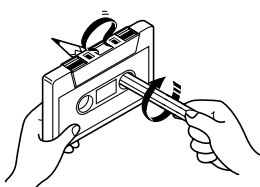
録音用MDには、大切な録音を間違って消さないための、誤消去防止つまみがついています。録音や編集が終わったら、カートリッジ側面の誤消去防止つまみをスライドさせ開いた状態にしておきます。新しく録音や編集をしなおすことができなくなります。録音や編集をしなおすときは、閉じた状態に戻してください。

お知らせ

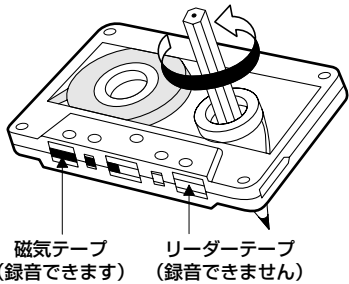
- 曲名などを記入したラベルは、指定以外の位置に張らないでください。万一、ラベルエリアよりはみ出したり、はがれかかったままMDを挿入すると、故障の原因となります。
- MDは ⇨ や ▻ などの矢印に従って正しく入れてください。間違った方向で挿入すると、故障の原因となります。

大切な録音を消さないために

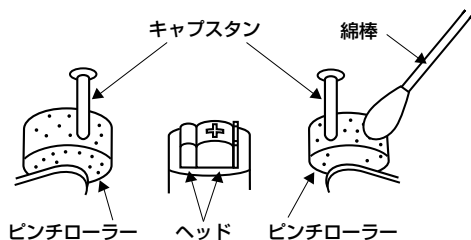
カセットテープには誤消去防止用のツメ(タブ)がついています。

- ツメを折っておくと録音(消去)ができなくなり、誤って消してしまうことが防げます。
- 再び録音したいときはツメの穴をセロハンテープなどでふさぎます。

カセットテープの取り扱いかた

- テープにたるみがありますと、機械に巻き込まれたり、故障の原因になります。使用する前に右図のようにしてたるみを取り除いてください。また、テープを引き出したり、テープ面に触れないでください。

- **C-120やC-150などの長時間テープは、使用しないでください。**
  長時間録音や再生ができて便利ですが、テープが薄く伸びやすいため機器内部に巻き込まれる原因となります。

リーダーテープについて

テープの始まりと終わりには、録音できない部分(リーダーテープ)があります。録音する前にこのリーダーテープの部分を巻き取っておきましょう。

テープデッキのヘッド部の清掃

- **ヘッド部の清掃**
  音が小さくなったり音質が悪くなる前に、およそ10時間使うごとにヘッドやピンチローラー、キャプスタンを清掃します。

市販のクリーニングキット(綿棒とクリーニング液)を使うと便利です。

本体表面のお手入れ

- キャビネット表面の汚れは、柔らかい布で軽くふき取ってください。汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布でからぶきしてください。

- キャビネットが変質したり、塗料がはげることがありますので、シンナーやベンジンでふかないでください。また、殺虫剤など揮発性のものをかけたり、ゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。

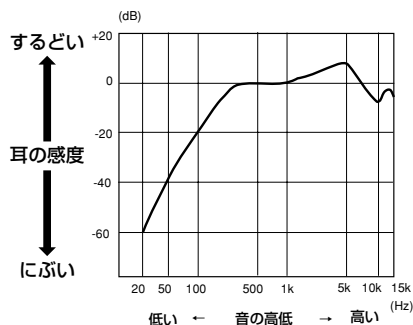
ご注意

- **ハイポジション(TYPE II)やメタルテープ(TYPE IV)に対応しておりませんので、使用しないでください。特性が異なるため、正しく録音されません。また、再生しても正しい音質にはなりません。**

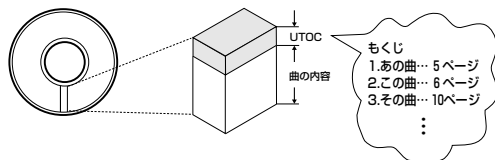
MDの技術解説

ATRAC (Adaptive TRansform Acoustic Coding)

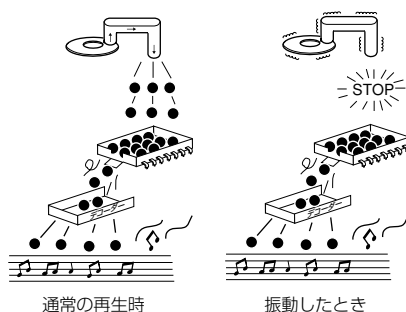
アダプティブ トランスフォーム アコースティック コーディング

MD(ミニディスク)は、従来のCDの約半分のサイズですがCDと同等の時間記録することができます。それは、新しく開発された「音声圧縮技術(ATRAC)」により可能になりました。「音声圧縮技術(ATRAC)」では、聴感上聞こえない音の成分をカットすることでデータを小さく圧縮しています。 この技術により、記録するデータを元のデータの約1/5の量にすることができ、長時間のステレオ録音/再生を可能にしました。さらにATRAC3の場合、LP2で元のデータの約1/10、LP4で約1/20に圧縮しステレオ長時間録音を可能にしています。

UTOC (User Table Of Contents)

ユーザー テーブル オブ コンテンツ

録音用MD(ミニディスク)には、曲の内容とは別に、「目次(UTOC)」データが収録されています。これには各曲が記録されている位置、曲の区切り、曲順などが記録されていて、この目次を見ることで、頭出しなどが素早くできます。
また、編集のときは、この「目次(UTOC)」を変更するだけで、曲の内容を録音し直す必要がありません。

音飛びガードメモリー

MD(ミニディスク)を再生する場合、振動で音が飛ばないように、再生する曲のデータをメモリーにいったん蓄えておく機能があります。これを「音飛びガードメモリー」と呼び、振動でディスクの信号が光レーザーで読み取れなかった場合、「音飛びガードメモリー」のデータが補完することによって、実際に聞こえる音が途切れたりしません。

通常の再生時　　振動したとき

MD/CDのメッセージ

MDのメッセージ	意　味	処　置
CANNOT ENTRY!	曲を同じグループに登録しようとした。	正しい曲を選んでください(➡**52**ページ参照)。
CANNOT FORM!	グループをはさんでグループにする曲を選んでしまった。	グループをはさまないように曲を選んでください(➡**51**ページ参照)。
CANNOT GROUP!	グループに関する情報量の制限を超えている。 (グループに関する情報は、タイトルの領域に記録されます)	それ以上のグループは作れません。 (不要なディスク名や曲名は消してください)
CANNOT JOIN	録音モードが異なる曲、または8秒以下の短い曲をつなげようとした。	MDのシステム上の制約です。
CANNOT LISTEN	倍速録音中に音量を調節しようとした。	倍速録音中は、CDの音は聞けません。
CANNOT TITLE	MDに合計1792文字を超えて入力しようとした。	それ以上のタイトルは入力できません。
READ ERROR	UTOC情報が読み取れない。	電源を入れ直してください。
DISC FULL	ディスクの空き時間が足りない。トラック数が254を超える。	他の録音用MDに取り換えてください。
DISC PROTECTED	MDが誤消去防止状態のまま編集または録音をしようとした。	MDの誤消去防止つまみを閉じてください(➡**62**ページ参照)。
EMERGENCY STOP	録音中に異常が発生した。	■(停止)を押していったん停止してから、≜ B **MD**(取り出し)を押してMDを取り出し、もう一度操作し直してください。
GROUP FULL	100以上のグループを作ろうとした。	グループは99まで作ることができます。
GROUP TRACK	グループ登録されている曲を選んで新しいグループを作ろうとした。	グループに登録されていない曲を選んでください(➡**51**ページ参照)。
LOAD ERROR	MDの入れ方がおかしい。	MDを正しく入れてください。
MD NO DISC	MDが入っていない。	MDを入れてください。
PLAYBACK DISC	再生専用MDに録音·編集しようとした。	録音用MDに取り換えてください。
SCMS CANNOT COPY	CD-R/CD-RW(デジタルオーディオ)のコピーを作ろうとした。	アナログ録音で録音してください(➡**36**ページ参照)。
TRACK PROTECTED	トラックプロテクトがかかっている。	本機では解除できません。プロテクトをかけたときの機器で解除してください。
HCMS CANNOT COPY	4倍速で録音した曲を、その曲の録音開始から74分以内に再録音(4倍速)しようとしたため。	著作権保護のため内部タイマーが働いています。74分以上まつかまたは等速録音にしてください。

CDのメッセージ	意　味	処　置
CANNOT PLAY	演奏できないCDまたは傷の多いCDを演奏しようとした。	CDを交換してください。
CD NO DISC	CDが入っていない。	CDを入れてください。

故障かな？と思う前に

修理を依頼する前に、ちょっとお確かめください。

症　状	原　因	処　置	参照ページ
音が出ない。	接続をまちがえている。	「接続」のページをご覧になり、正しく接続し直してください。	**9〜11**
	ヘッドホンがつながれている。	ヘッドホンのプラグを抜く。	**12**
時刻表示が点滅している。	停電または、電源コードを抜いたため。	時計を合わせ直す。	**15**
CD/MDの演奏が始まらない。	CDが裏返しに入っている。	文字のある面が上になるように正しく入れる。	**22, 23**
	レンズが結露している。	電源を「入」にしたまま1〜2時間待ち、乾いてから使う。	**8**
特定な箇所が正常に演奏できない。	CDに傷や汚れがある。 MDにエラーが発生した。	CDをクリーニングするか、または交換する。 MDを録音し直す	**62**
入れたMDが出てきてしまう。	MDの入れ方が不完全なため。 すでにMDが入っている。	本体と平行にして、軽くMDを押して入れ直す。 MDを取り出してから操作する。	**23**
テープの再生音が小さい。	ヘッドやキャプスタンが汚れている。	ヘッドやキャプスタンを清掃する。	**63**
MDまたはテープの録音ができない。	誤消去防止状態になっている。	MDの誤消去防止つまみを閉じる。 テープの誤消去防止用ツメをセロハンテープなどでふさぐ。	**62** **63**
CD(MD)の録音が1曲で停止する。	CD(MD)が演奏中に録音の操作をすると、1曲録音になり演奏中の曲の録音が終了すると自動停止します。	CD(MD)の全曲を録音するときは、CD(MD)の停止中に録音の操作をしてください。	**37** **38**
MDをテープに録音すると、B面にも同じ内容が録音される	生演奏などで全体が1曲で録音されているMDをテープに往復録音すると、テープのB面にも同じ内容が録音されます。	DIVIDE機能を使って、テープ片面の長さに合わせてMDの曲を2曲に分けてください。	**35, 41, 47**
雑音が多くて、放送がうまく受信できない。	アンテナの接続・設置が悪い。	アンテナの接続・設置をし直す。	**9**
ブーンという雑音がでる。	テレビやOA機器がそばにある。	テレビやOA機器などから離す。	•
タイマーがうまく働かない。	現在時刻が正しく合っていない。 タイマーが解除されている。	正しい時刻に設定し直す。 タイマー表示を確認して、設定し直す。	**15** **59**
リモコンが操作できない。	リモコンの電池が消耗している。	新しい乾電池(単3形)と交換する	**14**
電源を入れてもすぐに切れてしまう。	スピーカーコード(端子)がショートしてアンプに負担がかかりすぎている。	スピーカーコード(端子)がショートしていないか確認する。それでも正しく動作しないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。	•
接続したレコードプレーヤーの音が小さい	イコライザーアンプを内蔵していないレコードプレーヤーを直接本機に接続している。	市販のイコライザーアンプ内蔵レコードプレーヤーを本機に接続する。または本機とレコードプレーヤーの間にイコライザーアンプを接続する。	**11**
本機でマイクを使いたいときは： オーディオミキサーMI-A40(別売り)を本機に接続して使います。			**11**

● **上記の処置をしても正しく動作しないときは…**
本機はマイコンの働きで多くの動作を行っております。万一、どのボタンを押してもうまく動作しないときは、電源プラグをコンセントから抜き、しばらく待ってからつなぎ直してください。そのあと、時計を合わせ直してください。

お願い

- 本機の故障または不測の事態により、録音·再生およびCD/MDの演奏などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

保証とアフターサービス

保　証　書（別添）

保証書は、お買い上げの販売店よりお受け取りください。「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、記載内容をよくお読みの後、大切に保管しておいてください。

保　証　期　間

お買い上げの日から１年間

補修用性能部品の最低保有期間

マイクロコンポーネントMDシステムの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後８年です。

補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理に関するご相談やご不明な点は

修理に関するご相談やご不明な点は、**お買い上げの販売店**または**68**ページの**「ビクターサービス窓口案内」**をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にお問い合わせください。

修理を依頼されるときは　出張修理

66ページの**「故障かな?と思う前に」**に従ってお調べください。それでもなお異常のあるときは使用を中止し、**お買い上げの販売店**に修理をご依頼ください。このとき不具合が発生したディスクなどのメディアも、一緒にご用意ください。

保　証　期　間　中　は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、お客様のご要望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品　　名	マイクロコンポーネントMDシステム
型　　名	UX-W5-S
	UX-W5-W
	UX-W5-B
	UX-WA6-M
お買い上げ	年　月　日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご　住　所	付近の目印等も併せてお知らせください
お　名　前	
電話番号	
訪問ご希望日	

修　理　料　金　の　仕　組　み

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。技術者の人件費、測定機器等設備費、故障診断、修理および部品交換、調整、点検にかかる費用です。

＋

部品代	修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。

＋

出張料	製品のある場所へ技術者を派遣するための費用です。別途、駐車料金をいただく場合があります。

便利メモ	お買い上げ店名	☎（　　）　－

■ この製品の製造時期は本体の背面に表示されております。

ビクターサービス窓口案内 (ビクターサービスエンジニアリング株式会社)

ビクター製品のアフターサービスはお買い上げの販売店へご相談ください

ご転居等で保証書記載のお買い上げ販売店にアフターサービスをご依頼になれない場合は、最寄りの「ご相談窓口」にご相談ください。

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
	北海道		
北海道	札幌 S.C.	(011)898-1180	札幌市厚別区厚別東五条1-2-29
	旭川 S.C.	(0166)61-3659	旭川市神居二条3-2-15
	北見 S.S.	(0157)25-8557	北見市山下町4-7-19
	釧路 S.S.	(0154)24-0797	釧路市松浦町3番3号
	帯広 S.S.	(0155)24-4493	帯広市東6条南12-11
	函館 S.S.	(0138)52-5324	函館市五稜郭町4-16函館五稜郭MFビル1F
	東北		
青森	青森 S.C.	(017)723-2261	青森市桂木4-6-17
	八戸 S.S.	(0178)44-4521	八戸市諏訪2-2-36
	弘前 S.S.	(0172)28-0165	弘前市高田1-13-1
岩手	盛岡 S.C.	(019)637-0121	盛岡市津志田9地割24-1
	水沢 S.S.	(0197)22-2773	水沢市天文台通り3-12
秋田	秋田 S.C.	(018)824-3189	秋田市山王中園町4-1
	大館 S.S.	(0186)43-0980	大館市美園町5-6
	横手 S.S.	(0182)32-8873	横手市赤坂字大道向3-6
宮城	仙台 S.C.	(022)287-0151	仙台市若林区六丁の目西町7-13
	石巻 S.S.	(0225)94-7711	石巻市門脇字四番谷地8-18
山形	山形 S.C.	(023)642-0279	山形市松山3-12-18
	酒田 S.S.	(0234)26-7145	酒田市亀ヶ崎6-6-1
福島	郡山 S.C.	(024)952-6331	郡山市堤1-3
	いわき S.S.	(0246)27-7991	いわき市内郷御台境町鶴巻6-1
	会津若松 S.S.	(0242)38-1355	会津若松市表町1-44ハイツシンフォニー101
	福島 S.S.	(024)553-9437	福島市本内字南原26-1
	関東・甲信越		
群馬	前橋 S.C.	(027) 255-5921	前橋市大渡町1-10-1 日本ビクター（株）前橋工場第二棟1F
栃木	宇都宮 S.C.	(028) 638-1639	宇都宮市東宿郷3-5-22
茨城	水戸 S.C.	(029) 246-1560	水戸市元吉田町1030 日本ビクター（株）水戸工場技術棟1F
	土浦 S.S.	(029)821-8756	土浦市富士崎1-10-1
千葉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	千葉 S.C.	(043) 246-2588	千葉市美浜区幸町2-1-1
	柏 S.C.	(04) 7175-4322	柏市豊四季512-10-67
	浦安 S.S.	(047) 353-6189	浦安市当代島2-13-27
東京	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	本郷 S.C.	(03) 5684-8254	文京区本郷3-14-7 ビクター本郷ビル1F
	秋葉原 S.S.	(03) 3251-2128	千代田区外神田1-6-6
	練馬 S.C.	(03) 3993-7520	練馬区豊玉南1-19-1
	大田 S.C.	(03) 3727-9385	大田区北千束2-20-6
	八王子 S.C.	(0426) 46-6914	八王子市大和田町2-9-6
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	CSセンター	(03) 3874-5231	台東区根岸5-4-3
埼玉	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大宮 S.C.	(048) 654-5241	さいたま市北区東大成町2-658-1
	熊谷 S.S.	(048) 553-5105	行田市城西2-7-39ツインハイツ石山B
神奈川	【出張修理専門】のご相談窓口		
	首都圏サービスセンター	(03) 5803-2888	浦安市当代島2-13-27
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	横浜 S.C.	(045) 651-0403	横浜市中区翁町1-3-1
	川崎 S.C.	(044) 975-1879	川崎市宮前区南平台3-2(第2石原ビル)
	平塚 S.C.	(0463) 36-2160	平塚市南原2-4-5
	相模原 S.C.	(042) 776-2052	相模原市古淵3-7-4
	横浜 T.C.	(046) 234-4500	海老名市東柏ヶ谷6-19-26
山梨	甲府 S.S.	(055) 237-4016	甲府市湯田2-11-5
新潟	新潟 S.C.	(025) 242-3431	新潟市明石1-2-19
	長岡 S.C.	(0258) 24-8391	長岡市下下条2-1366-1
	上越 S.S.	(025) 545-1734	上越市五智1-11-2
長野	長野 S.C.	(026) 221-6583	長野市川合新田962-1
	松本 S.S.	(0263) 25-9165	松本市庄内2-4-21
	東海		
静岡	静岡 S.C.	(054) 282-4141	静岡市中田本町62-31 中田ビル1階
	沼津 S.S.	(055) 922-1557	沼津市筒井町6-5
	浜松 S.S.	(053) 421-3441	浜松市北島町785
愛知	名古屋 S.C.	(0568) 25-3235	西春日井郡西春町九之坪鴨田121-1
	三河 S.C.	(0564) 51-5931	岡崎市柱曙3-10-12
	豊橋 S.S.	(0532) 64-0815	豊橋市多米東町1-1-1
岐阜	岐阜 S.S.	(058) 274-1947	岐阜市宇佐南3-1-28
三重	三重 S.S.	(0593) 52-0841	四日市市堀木2-15-2
	津 S.S.	(059) 229-7780	津市大字藤方485-18

都道府県名	窓口名	TEL	所在地
	北陸		
富山	富山 S.C.	(076) 425-2397	富山市二口町四丁目1-3
石川	金沢 S.C.	(076) 269-4821	金沢市新保本四丁目65-17
福井	福井 S.S.	(0776) 53-6916	福井市西開発3-211
	近畿		
滋賀	滋賀 S.S.	(077) 582-5812	守山市浮気町268
京都	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	京都 S.C.	(075) 644-0247	京都市伏見区深草下川原町31-1
京都北部	福知山 S.S.	(0773) 22-8664	福知山市厚東町145-2
奈良	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	奈良 S.C.	(0742) 35-0935	奈良市大宮町6-3-10藤本ビル1F
大阪	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	堺 S.C.	(072) 254-2881	堺市百舌鳥梅町3丁目21-2 伊助ハイツ
	【業務用機器専門】のご相談窓口		
	大阪メンテナンスセンター	(06) 6304-6715	大阪市淀川区田川2-4-28
和歌山	和歌山 S.S.	(073) 472-6799	和歌山市太田430-8
	田辺 S.S	(0739) 22-9976	田辺市湊1581-12
兵庫中東部	【出張修理専門】のご相談窓口		
	大阪 S.C.	(06) 6304-5731	大阪市淀川区田川2-4-28
	【お預かり修理、補修用部品】のご相談窓口		
	神戸 S.C.	(078) 252-0562	神戸市中央区磯上通3-2-16
兵庫西部	姫路 S.S.	(0792) 34-3833	姫路市中地南町11-1
	中国		
岡山	岡山 S.C.	(086) 243-1566	岡山市西古松西町8-23
広島	広島 S.C.	(082) 243-9839	広島市中区光南3-9-17
	福山 S.S.	(084) 931-6984	福山市南蔵王町3-5-15
山口	山口 S.C.	(083) 973-3708	吉敷郡小郡町花園町5-28
	徳山 S.S.	(0834) 27-1331	周南市野上町2-35
	下関 S.S	(0832) 51-1040	下関市熊野町2-14-23
島根	山陰ビクター販売(株) 松江 S.C.	(0852) 31-8900	松江市学園1-16-39
鳥取	山陰ビクター販売(株) 鳥取 S.S.	(0857) 23-2151	鳥取市千代水1丁目22-1
	四国		
香川	高松 S.C.	(087) 866-1200	高松市田村町205-1
徳島	徳島 S.C.	(088) 622-7387	徳島市沖浜2-37
高知	高知 S.S.	(088) 882-0546	高知市高須新町4-143
愛媛	松山 S.C.	(089) 923-0372	松山市中央1-4-12
	宇和島 S.S.	(0895) 20-1018	宇和島市坂下津甲407-40
	九州・沖縄		
福岡佐賀	福岡 S.C.	(092) 431-1261	福岡市博多区博多駅前4-16-1
	久留米 S.S.	(0942) 39-3495	久留米市西町字神浦1-1192
	北九州 S.S.	(093) 921-3981	北九州市小倉北区片野2-15-12
長崎	長崎 S.C.	(095) 862-5522	長崎市城山町9-13
	佐世保 S.S.	(0956) 33-5568	佐世保市木風町1467-2
大分	大分 S.C.	(097) 543-1422	大分市大道町4-1-2
熊本	熊本 S.C.	(096) 353-4536	熊本市近見町8-1-10
宮崎	宮崎 S.S.	(0985) 24-5401	宮崎市霧島町3-59
	延岡 S.S.	(0982) 35-7077	延岡市惣領町24-3
鹿児島	鹿児島 S.C.	(099) 282-8818	鹿児島市田上七丁目9-8
沖縄	沖縄 S.C.	(098) 898-3631	宜野湾市真志喜1-13-16

所在地、電話番号が変更になる場合がございますので、あらかじめご了承ください。 1203

●略号について　S.C.はサービスセンターの略称です。
S.S.はサービスステーションの略称です。
T.C.はテクニカルセンターの略称です。

主な仕様 —本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。—

■ MD/CDレシーバー

(CA-UXW5-S/CA-UXW5-W/CA-UXW5-B/CA-UXWA6-M)

アンプ部

実用最大出力	20W＋20W (JEITA/4Ω)
入力端子 ＜アナログ＞	AUX×1系統、 500mV/49kΩ:LEVEL1 250mV/49kΩ:LEVEL2
出力端子 ＜アナログ＞	スピーカー×1系統、20W/4Ω 適合インピーダンス 4Ω～16Ω ヘッドホン(×1)、25mW/32Ω 適合インピーダンス 16Ω～1kΩ

チューナー部

受信周波数	FM : 76.00MHz～108.00MHz AM : 531kHz～1,629kHz
アンテナ	FM : 75Ω不平衡型 AM : ループアンテナ

タイマー部

タイマー形式	3プログラム動作(ONCE/EVERYDAY切換可能)
スリープタイマー	10、20、30、60、90、120、150分(オートディマー)
時刻表示	24時間表示

CDプレーヤー部

形式	コンパクトディスクデジタルオーディオシステム
サンプリング周波数	44.1 kHz
チャンネル数	2 チャンネル・ステレオ
周波数特性	20 Hz～20 kHz ＋1dB/－2dB (JEITA)

MDレコーダー部

形式	ミニディスクデジタルオーディオシステム
記録方式	磁界変調オーバーライト方式
再生時間 (MD80使用)	録音モードSP : 80分 録音モードLP2 : 160分 録音モードLP4 : 320分
サンプリング周波数	44.1kHz
音声圧縮方式	ATRAC/ATRAC3(MDLP)方式
チャンネル数	2チャンネル・ステレオ

カセットデッキ部

形式	コンパクトカセットステレオ
録音方式	交流バイアス
消去方式	交流消去
ヘッド	消去(2ギャップフェライト) 録音・再生(ハードパーマロイ) }コンビネーション×1
早巻き時間	約145秒(C-60)

共通部

電源電圧	AC 100V(50Hz/60Hz共用)
消費電力	電源「入」時 50W 電源「待機」時 0.9W
最大外形寸法	幅189mm × 高さ170mm × 奥行365mm
質量	約 6.1kg

■ スピーカー:1本当たり

(SP-UXW5-S/SP-UXW5-W/SP-UXW5-M/SP-UXWA6-M)

形式	3ウェイバスレフ型(JEITA)
使用スピーカー	低音用 : 11cm 丸形 ×1 中高音用 : 4cm 丸形 ×1 高音用 : 1.5cm 丸形 ×1
最大入力	20W(JIS)
定格インピーダンス	4Ω
再生周波数帯域	55Hz～20kHz
出力音圧レベル	84dB/W・m
最大外形寸法	幅 125mm × 高さ 258mm × 奥行 205mm
質量	約 2.1kg(1本)

■ マイクロコンポーネントMDシステム

(UX-W5-S/UX-W5-W/UX-W5-B/UX-WA6-M)

総　合

最大外形寸法	幅 439mm × 高さ 258mm × 奥行 365mm
質量	約 10.3kg

付属品 : ➡**8** ページ参照

- JEITAは、電子情報技術産業協会の規格による数値です。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品です。

索引

数字・英字

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ラ

別売りのオプション品

- RCA ピンコード ：CN-180G（1 m）
- CD レンズクリーナー ：CL-CDLA
- MD レンズクリーナー ：CL-MLA
- アンテナコネクター ：VZ-71A（75 Ω /300 Ω）
- FM フィーダーアンテナ ：CN-511A（300 Ω）
  （アンテナコネクター：VZ-71A と一緒に使います。）

■ 別売りのオプション品は、お買い上げの販売店でお求めください。
品番は変更されることがあります。

ご相談や修理は

製品についてのご相談や修理のご依頼は、
お買い上げの販売店にご相談ください。

転居されたり、贈答品などでお困りの場合は、下記の相談窓口にご相談ください。

修理などのアフターサービスに関するご相談 ビクターサービスエンジニアリング株式会社	お買い物相談や製品についての全般的なご相談 お客様ご相談センター
68ページの「ビクターサービス窓口案内」をご覧ください。	フリーダイヤル 0120－2828－17 携帯電話・PHS・FAXなどからのご利用は ☎ (03) 5684-9311 FAX(03) 5684-9317 〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

ビクターインターネットホームページアドレス　http://www.jvc-victor.co.jp/

日本ビクター株式会社

AV＆マルチメディアカンパニー
〒221-8528　神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12

1203TNMNATJEM